

Portable 5G Modem

UNX-05G

取扱説明書



はじめに

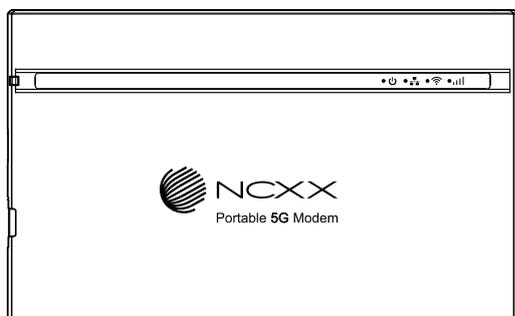
「UNX-05G」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

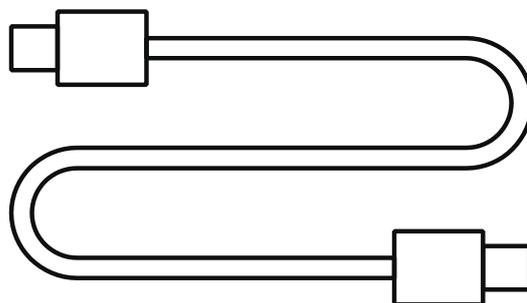
本書においては、「UNX-05G」を「本端末」と表記しています。
本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
本書の内容やホームページの URL に関して、将来予告なしに変更することがあります。
本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

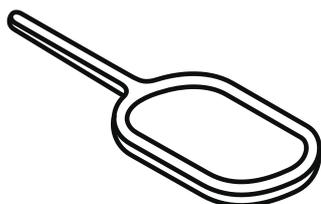
□本体



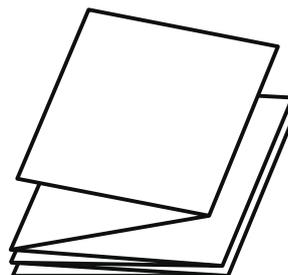
□USB Type-C ケーブル(試供品)



□SIM 取り出しツール(試供品)



□クイックスタートガイド



目次

はじめに	1
取扱説明書について	1
本体付属品	1
目次	2
本端末のご利用について	4
UNX-05G の主な機能	5
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
取り扱い上のご注意	17

1

ご使用前の確認

各部の名称と機能	23
SIM カードの取り付けかた	25
電源を入れる	27
LED ランプ	28
電力モードについて	30
対応機器について	32

2

各種機能を設定 する (Web ブラウザ)

設定ツールについて	35
設定ツールの起動とログイン	35
設定ツールの画面	37
WAN 設定	40
LAN 設定	47
Wi-Fi 設定	54
セキュリティ	59
システム	63

3

USB モデムモード で接続する

USB モデムモードについて	71
USB モデムモードを設定する	71
UNIX-05G PC Utility をインストールする	72
UNIX-05G PC Utility をアンインストールする	76
各種機能を設定する (UNIX-05G PC Utility)	77
UNIX-05G PC Utility の画面	77
セキュリティ	80
システム	85
モバイルブロードバンドを使う (Windows)	92

4

Wi-Fi で接続する

Wi-Fi で接続する	99
Windows パソコンを接続する	99
Mac を接続する	101
Android 搭載端末を接続する	102
iPhone/iPod touch/iPad を接続する	103

5

付録

故障かな?と思ったら	105
エラーコード	108
メニュー一覧 (Web ブラウザ)	111
メニュー一覧 (UNIX-05G PC Utility)	118
仕様	120
本端末の比吸収率(SAR)などについて	122
輸出管理規制	125
知的財産権について	125
その他	126
携帯電話/PHS のリサイクルについて	126
お問合せ先	127

本端末のご利用について

- 本端末は、5G・4G(LTE)・無線 LAN 方式に対応している SIM ロックが設定されていない端末です。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5G サービスエリアおよび LTE サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く 5G/4G ランプが点灯している状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は防水/防塵性能を有しておりません。湿気やほこりの多い場所でのご使用はおやめください。
- お客様ご自身で本端末に設定されたデータは、定期的にメモを取る、パソコンなどの外部記録媒体に保管していただくようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、設定された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。
- データ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
- 紛失に備え本端末のお買い上げ時の ID やパスワードなどの設定を変更の上保管いただき、本端末のセキュリティを確保してください。
- 市販品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様が本書の記載内容を守られないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本端末の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記憶内容の変化・消失・事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

UNIX-05G の主な機能

本端末は、第 5 世代移動通信システム(5G)に対応しています(5G の電波帯である「Sub6(6GHz 未満の周波数帯)」に対応)。また、本端末の 4G(LTE)通信は、LTE Advanced に対応しています。本端末は、USB Type-C ケーブル(試供品)でパソコンと接続してデータの送受信ができます。また、Wi-Fi 機能により複数のパソコンなどと同時の接続や、LAN ケーブル(市販品)を使用して有線ルータとして使用したりできます。

■ルーターモード

本端末の USB Type-C ポート(電源ポート)にはパソコンまたは AC アダプタ(市販品)を接続して使用することができます。

本端末と Wi-Fi 対応機器(パソコンなど)を接続し、データの送受信ができます。

本端末は Wi-Fi 対応機器を同時に 32 台まで接続できます。

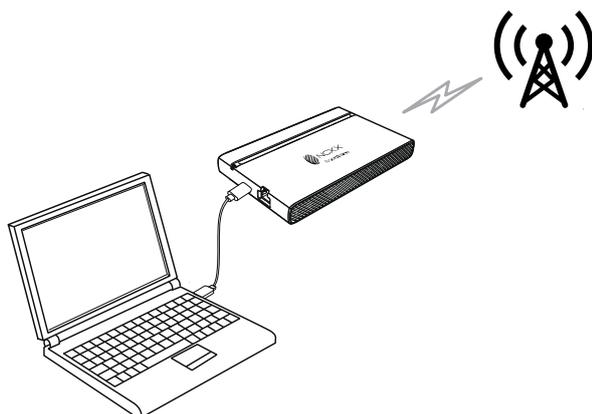
本端末とパソコンなどを LAN ケーブル(市販品)で接続してデータの送受信ができます。



■USB モデムモード

USB モデムモードはアドレス変換を行わず、WAN の IP アドレスをブリッジ接続することができます。

Wi-Fi 機能が搭載されていないパソコンからでも本端末の USB Type-C ポート(電源ポート)に接続してデータの送受信ができます。



注意

■ USB モデムモードでは Wi-Fi や LAN ケーブル(市販品)を接続してデータの送受信はできません。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

※1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、USB Type-C ケーブル(試供品)、LAN ケーブル(市販品)、AC アダプタ(市販品)、SIM カードの取り扱いについて(共通)

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具やパソコンなどの機器のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末を引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー、スプレー、ガスなど)や燃えやすいもの(紙、ビニールなど)、熱に弱いものの近くで使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、使用しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

USB Type-C ポートの端子やイーサネットポートの端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

市販品は、当社が推奨したものを使用してください。

推奨したものの以外のもを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

USB Type-C ポートの端子やイーサネットポートの端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- USB ケーブルを接続機器から抜く。
- 接続機器の電源を切る。
- LAN ケーブルを接続機器から抜く。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

SIM カードトレイや SIM 取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続してご使用になる場合は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

長時間の使用は、本端末の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠ 危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



本端末内の SIM カードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片(カッターの刃やホチキスの針など)、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、SIM カードトレイの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末から USB ケーブルを取り外し、電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



破損した際には、破損部や露出した本端末の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。
発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意



一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



SIM カードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM 取り出しツールの先端にご注意ください。
SIM 取り出しツールの先端に触れると、けがなどの原因となります。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→「材質一覧」(P.16)

USB Type-C ケーブル(試供品)、LAN ケーブル(市販品)、AC アダプタ(市販品)の取り扱いについて

警告



付属の USB ケーブルは本端末専用です。他の機器には使用しないでください。



AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルには触れないでください。

感電などの原因となります。



コンセントや接続機器につないだ状態で端子をショートさせないでください。また、端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントに AC アダプタを抜き差しするときや接続機器に USB ケーブルや LAN ケーブルを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



AC アダプタに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



本端末に AC アダプタを接続した状態や接続機器に USB ケーブルや LAN ケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルのコードを本端末などに巻き付けしないでください。

断線による火災や感電の原因となります。



濡れた手で AC アダプタのコードや USB ケーブル、電源プラグ、LAN ケーブルに触れないでください。

濡れ手禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で使用する場合は、海外で使用可能な AC アダプタを使用してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

端子についたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

AC アダプタの電源プラグをコンセントに差し込むときや USB ケーブルや LAN ケーブルを接続機器に差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く場合や USB ケーブル、LAN ケーブルを接続機器から抜く場合は、AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、AC アダプタやコネクタを持って抜いてください。

AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末に AC アダプタを抜き差しする場合や接続機器に USB ケーブルや LAN ケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。市販の AC アダプタや USB ケーブルをご使用の場合は仕様をお確かめの上、必ず推奨のものをご使用ください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。また、取扱いを誤ったために生じた AC アダプタや接続機器などの故障については弊社では責任を負いかねます。



指示

市販の AC アダプタで使用される際は、AC アダプタに損傷がないか確認し、異常のある AC アダプタは絶対に使用しないでください。また、お使いになる AC アダプタの取扱説明書もあわせてお読みのうえ、正しくご使用ください。



指示

USB ケーブルが傷んでいたり、AC アダプタなどへの挿し込みがゆるいときは、直ちに使用を中止し、新しい USB ケーブルに取り換えてください。また、本体への挿し込みがゆるい場合も使用を中止してください。

そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、USB ケーブルや LAN ケーブルを接続機器から抜いてください。

AC アダプタを差したまま放置したり、USB ケーブルや LAN ケーブルを接続したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、USB ケーブルや LAN ケーブルを接続機器から抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、USB ケーブルや LAN ケーブルを接続機器から抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



禁止

コンセントにつないだ状態で AC アダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

SIM カードの取り扱いについて

注意



指示

SIM カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意
ください。

切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

SIM 取り出しツール(試供品)の取り扱いについて

警告



禁止

SIM 取り出しツールの先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。

けがや失明などの原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を 15cm 以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース（上部、下部、側面）	PC樹脂+ABS樹脂／塗装
側面 LED レンズ	PC樹脂
正面 LED パネル	アクリル樹脂
SIM カードトレイ	アルミニウム／塗装
USB Type-C ポートの周囲 （内側側面）	ステンレス
イーサネットポート（端子部）	リン青銅／銀、錫メッキ
イーサネットポート（金属部）	黄銅／ニッケルメッキ

USB Type-C ケーブル（試供品）

使用箇所	材質／表面処理
USB プラグ（金属部）	ステンレス／ニッケルメッキ
USB プラグ（樹脂部）	PVC樹脂
ケーブル	PVC樹脂

SIM 取り出しツール（試供品）

使用箇所	材質／表面処理
本体	ステンレス

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)をかけないでください。
本端末、SIM カード、USB Type-C ケーブル(試供品)は防水性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりすると内部基板などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタの故障、破損の原因となります。
- AC アダプタ(市販品)をご使用される場合は、弊社が推奨したものを使用してください。
推奨品以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- 引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
環境条件に記載されている温度範囲「仕様」(P.120)でご使用ください。
- 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に設定された内容は、パソコンなどにバックアップしたり、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一設定された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 通常は SIM カードトレイを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

市販の AC アダプタを使用する場合のお願い

- メーカーの取扱説明書に記載されている使用温度範囲内で使用してください。
- 次のような場所では、使用しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)の近く
- 使用中に AC アダプタ(市販品)が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、プラグを変形させないでください。
故障の原因となります。

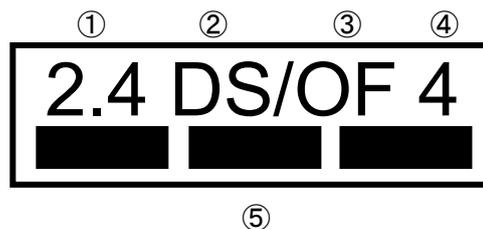
SIM カードについてのお願い

- SIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他の IC カードリーダー／ライターなどに SIM カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC 部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC 部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- お客様ご自身で、SIM カードに登録されたデータは、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- IC 部分を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- SIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- SIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

- SIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。故障の原因となります。

無線 LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線 LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線 LAN 機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 海外で無線 LAN をご利用される場合はその国の法律に基づいた設定変更が必要となります。渡航先の国／地域の法令などに抵触する場合がありますので、よくご確認の上ご使用ください。
- 無線 LAN について
電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - ・ 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
本端末の無線 LAN 機能が利用する周波数帯は、本端末の底面に貼り付けてあるラベルで確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS: 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF: 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4: 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ■■■ ■■■ ■■■ : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線 LAN で設定できるチャネルは 1～13 です。これ以外のチャネルの Wi-Fi 対応機器には接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

●2.4GHz 機器使用上の注意事項

WLAN 搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ・ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「サポートデスク」(P.127)までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- ・ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「サポートデスク」(P.127)までお問合せください。

●5GHz 機器使用上の注意事項

5GHz の周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz 帯(W52/W53/W56)の 3 種類の帯域を利用することができます。

- ・ W52(5.2GHz 帯/36、40、44、48ch)
- ・ W53(5.3GHz 帯/52、56、60、64ch)
- ・ W56(5.6GHz 帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch)

ご利用の Wi-Fi 対応機器に 5GHz 帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を 2.4GHz 帯にしてご使用ください。

また、USB ケーブル(試供品)を利用して USB 接続や LAN ケーブル(市販品)を利用して有線 LAN 接続で通信していただくことも可能です。

5.2GHz/5.3GHz 帯無線 LAN(W52/W53)の屋外利用は法律で禁止されています。

Wi-Fi 5GHz 帯の W53/W56 利用時は気象レーダーなどとの電波干渉を避けるためにチャンネルを自動的に変更する場合があります。その場合通信が一時的に切断されます(DFS 機能)。

試供品 (USBケーブル、SIM取り出しツール) についてのお願い

■ USB Type-C ケーブル(試供品)

- 次のような場所では、使用しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)の近く
- 使用中に USB ケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、端子を変形させないでください。故障の原因となります。

■ SIM 取り出しツール(試供品)

- SIM 取り出しツールを、SIM カードトレイ取り出し用の穴、リセットボタンの穴以外の穴などに挿入しないでください。
故障、破損の原因となります。
- 無理な力がかからないように使用してください。
故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。
- SIM 取り出しツールは本書に記載の使用目的以外では使用しないでください。
故障、破損の原因となります。
- SIM 取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。
携帯端末の故障、破損の原因となります。

注意

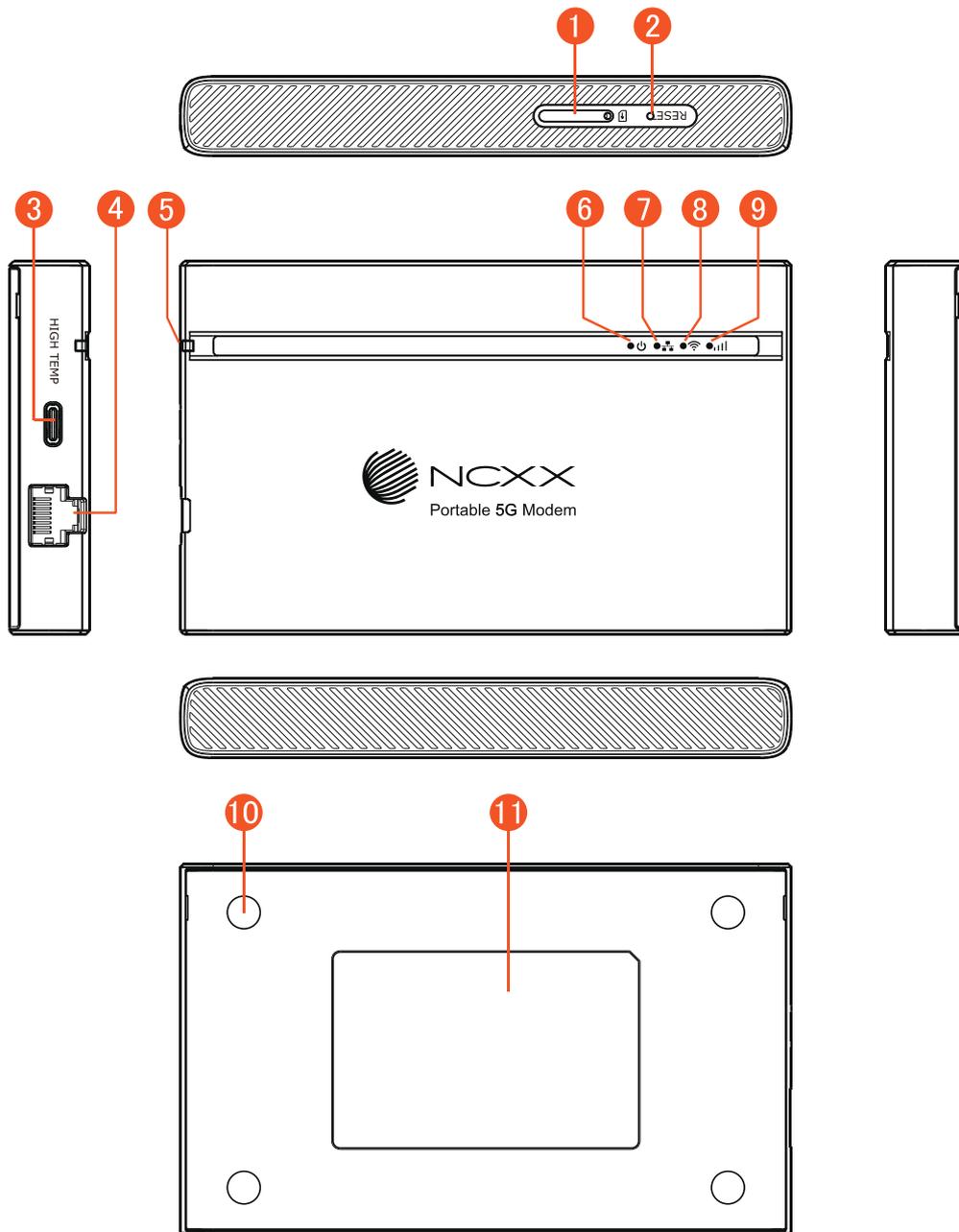
- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、及び電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を遵守しており、その証として「技適マーク㊿」が本端末底面のラベルに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 使用中、本端末の表面温度が上昇すると、温度上昇警告ランプが橙点滅または赤点灯することがあります。そのような場合、継続して触れることがないようにご注意ください。
やけどの原因となります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

1

ご使用前の確認

各部の名称と機能	23
SIM カードの取り付けかた	25
電源を入れる	27
LED ランプ	28
電力モードについて	30
対応機器について	32

各部の名称と機能



① SIM カードトレイ

② リセットボタン

リセットボタンを約 1~5 秒押すと、本端末の設定内容を保持したまま再起動することができます。5 秒以上押し続けると、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

③ USB Type-C ポート

USB Type-C ケーブル(試供品)を接続します。本端末の電源ポートです。

④ イーサネットポート

LAN ケーブル(市販品)を接続します。

⑤ 温度上昇警告ランプ

本端末の温度が上昇し、通信制限や通信停止した状態を示すランプです。

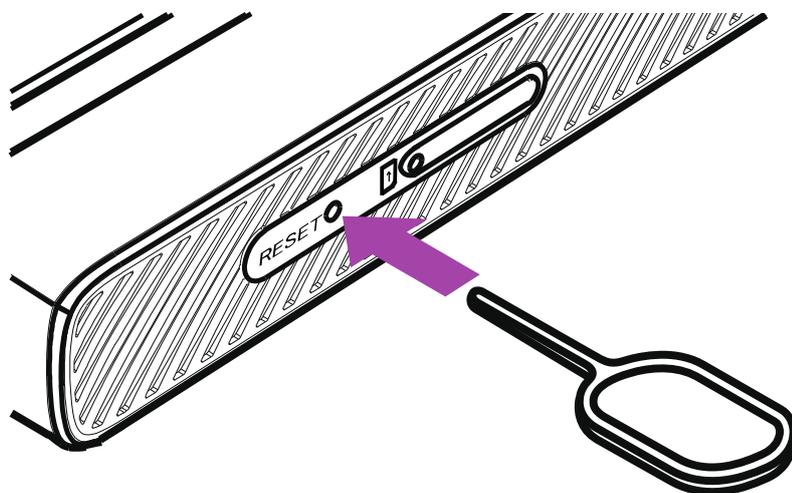
- ⑥電源ランプ
電源の状態を示す LED ランプです。
- ⑦イーサネットランプ
LAN の状態を示すランプです。
- ⑧Wi-Fi ランプ
Wi-Fi の状態を示すランプです。
- ⑨5G/4G ランプ
受信している電波の種別や強度を示すランプです。
- ⑩特殊ネジ
- ⑪ラベル
Wi-Fi の SSID、暗号化キーなどを確認できます。

⚠ 注意

- 本端末の底面には、IMEI 情報(端末識別番号)などを印刷したラベルが貼られています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI 番号が必要となりますので、シールをはがさないでください。

📢 お知らせ

- 本端末は「NCXX」のロゴの面が表向きになるように置いてください。
5G/4G のアンテナの電波状態が良くなります。
- 本端末の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すときは、本端末の電源が入っている状態で、SIM 取り出しツール(試供品)をリセットボタンの穴に差し込み、リセットボタンを 5 秒以上押す。
本端末が自動的に再起動し、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。



SIM カードの取り付けかた

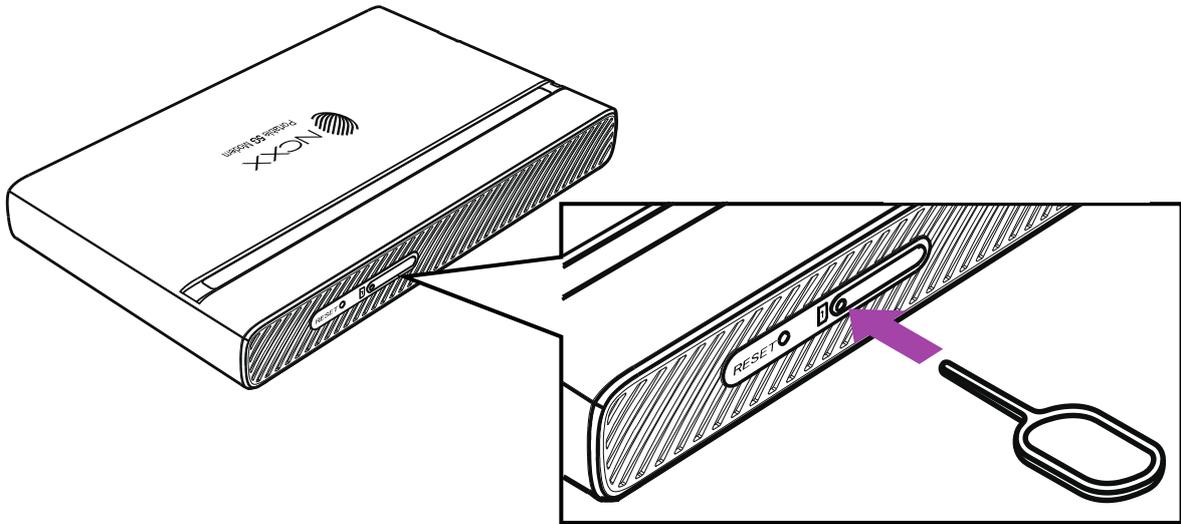
本端末では、nanoSIM(4FF)規格のカードのみご利用になれます。

SIMカードは、直接本体に差し込まないでください。SIMカードをカードトレイに取り付けたあとで、カードトレイごと本体に差し込んでください。

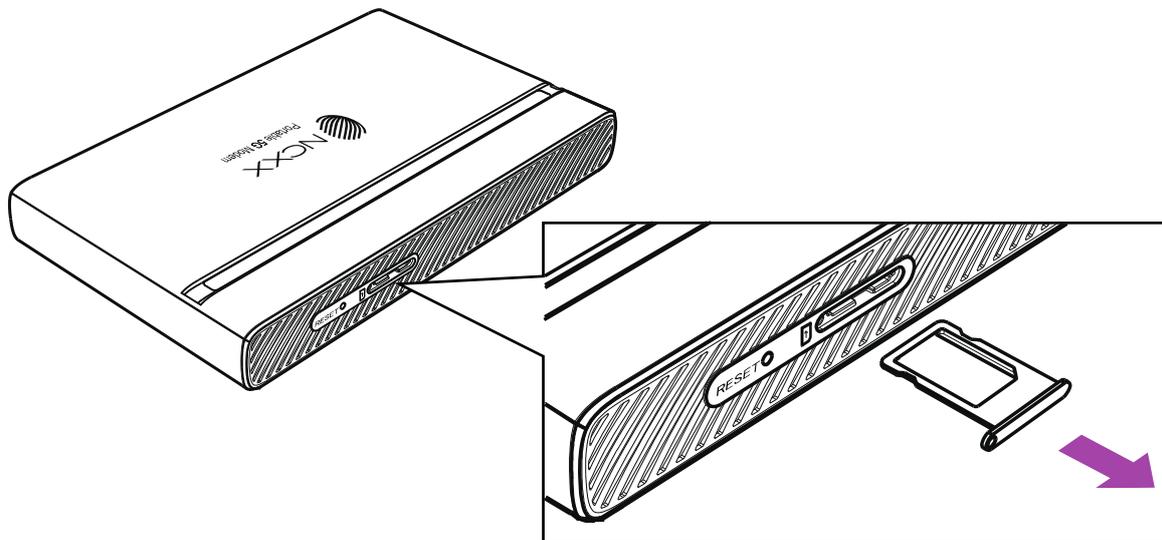
SIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

SIMカードの取り外しには、付属のSIM取り出しツール(試供品)が必要です。

- 1 SIM 取り出しツールの先端を SIM カードトレイ取り出し用の穴に水平に差し込む
SIM カードトレイが少し出てきます。
まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。



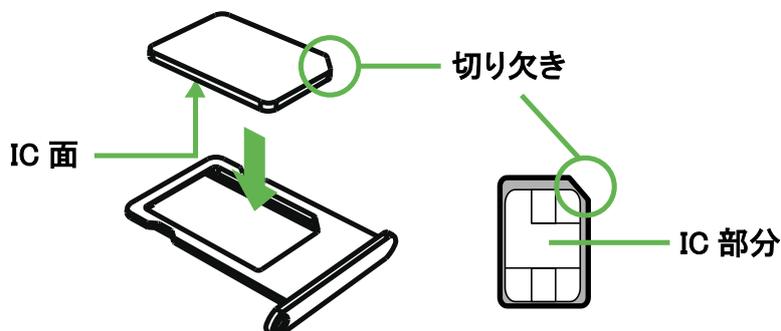
- 2 SIM カードトレイを本体から引き出す
カードトレイをゆっくりと水平に引き出してください。
カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。



3 SIMカードのIC面を下向きにして、SIMカードトレイに取り付ける

SIMカードの位置や向きに注意して、切り欠きの方向を合わせて取り付けてください。

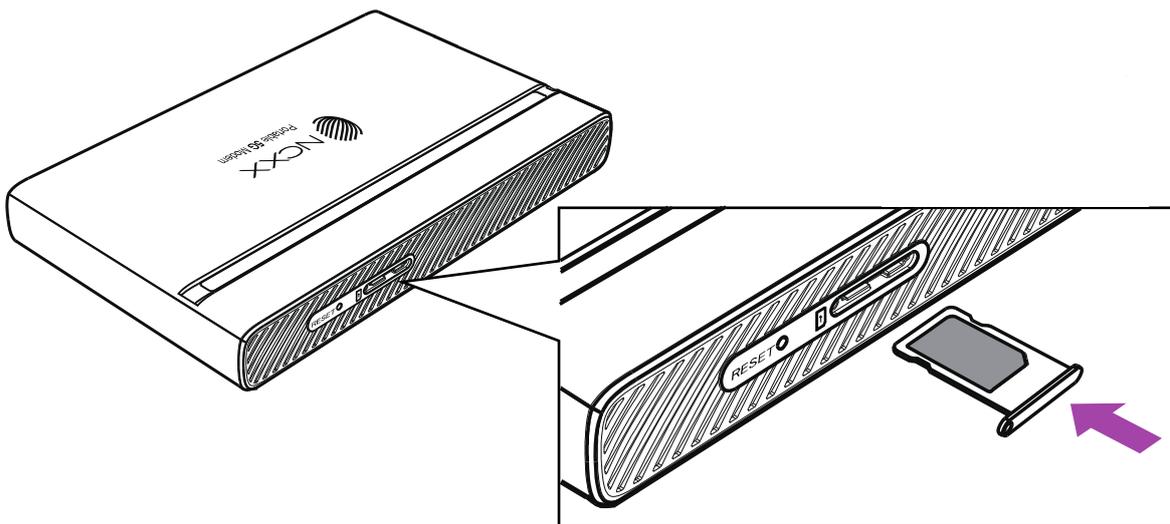
SIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



4 SIMカードトレイを本端末に差し込む

SIMカードトレイは挿入方向に注意してゆっくりと水平に奥まで差し込んでください。

正しくない向きに挿入するとSIMカードトレイが破損するおそれがあります。



⚠️ 注意

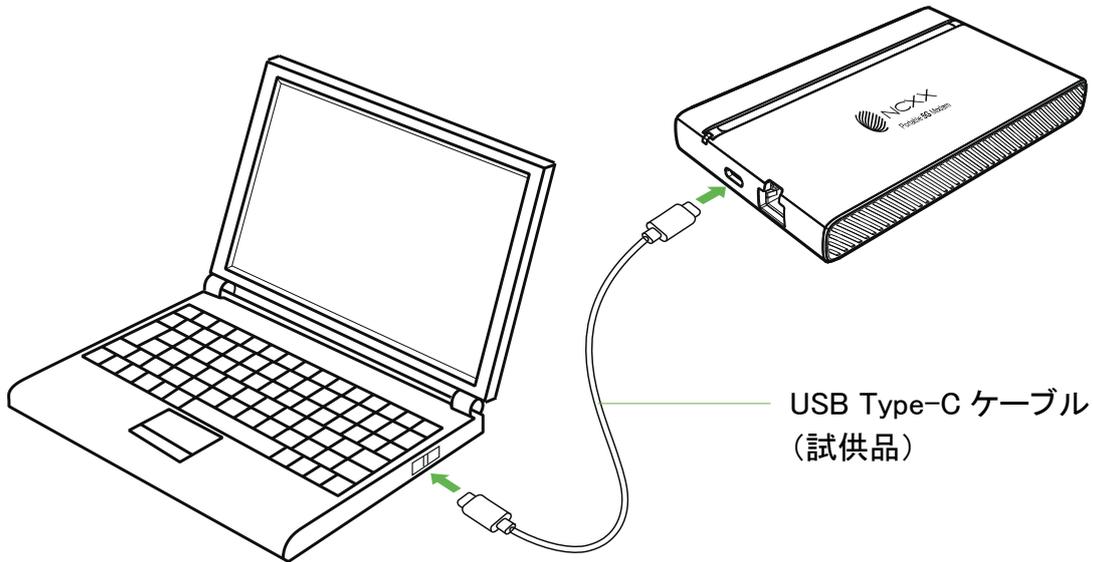
- SIMカードを取り扱うときは、IC部分に触れて傷つけないようにご注意ください。
- SIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、SIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- サイズの異なるもの、SIM変換アダプタを使用したもの、標準サイズのSIMをnanoSIMサイズにカットしたものなどを使用しないでください。破損や故障の原因となります。
- 取り外したSIMカードは、なくさないようご注意ください。

電源を入れる

USB Type-Cケーブル(試供品)を本端末のUSB Type-C ポートとパソコンのUSB Type-C ポートに接続します。

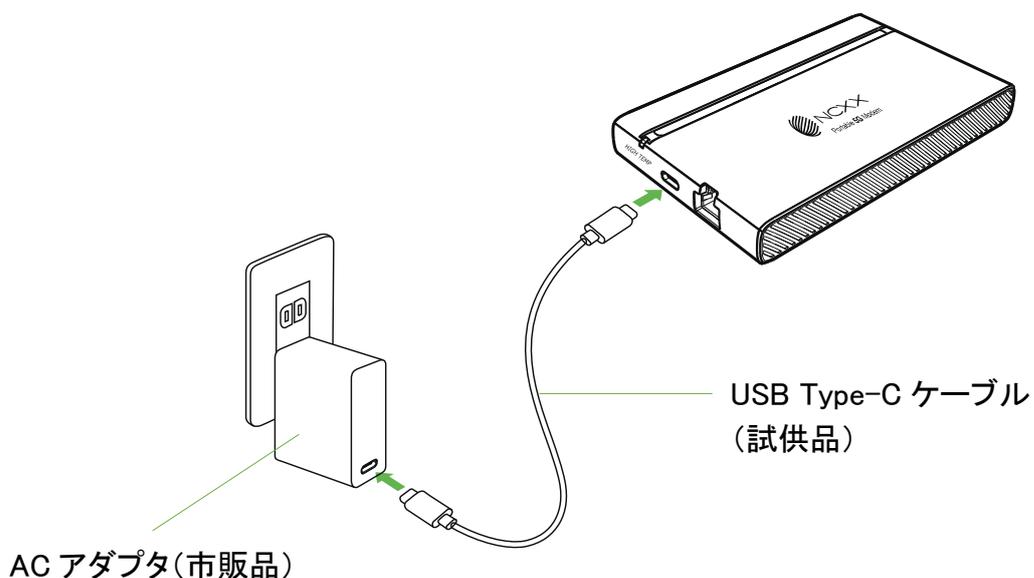
奥までまっすぐに差し込んでください。

パソコンが本端末を認識するのに30秒程度かかります。



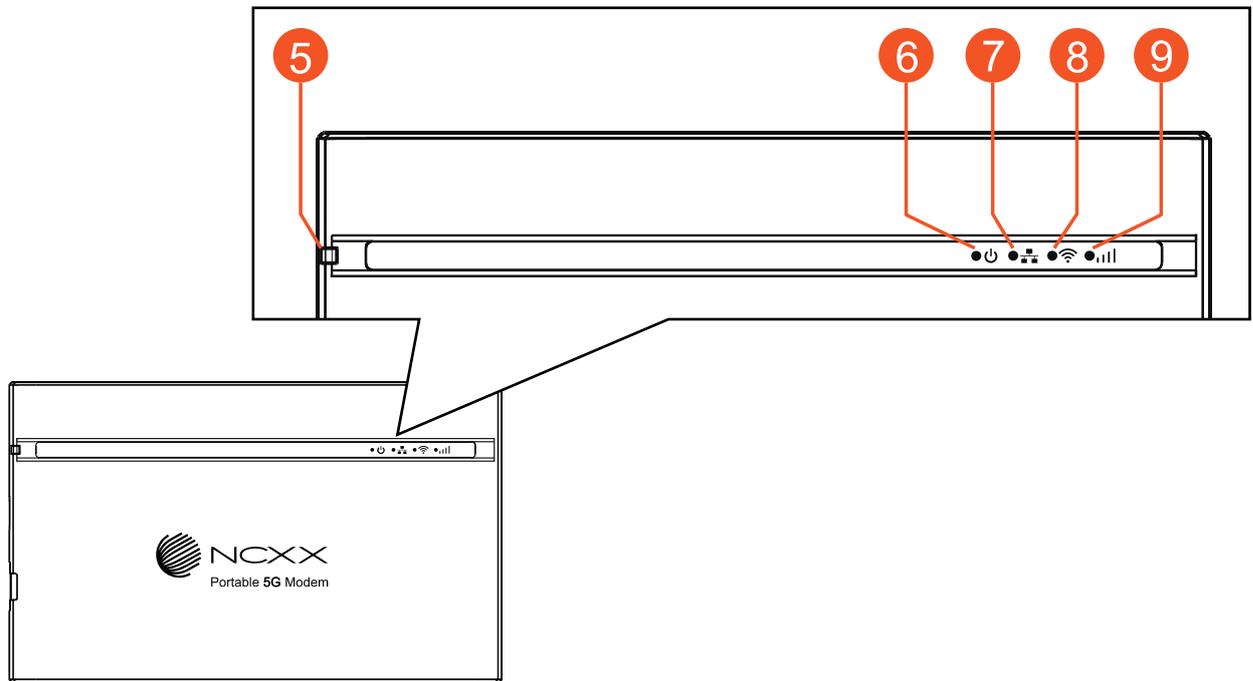
お知らせ

- USB Type-C ケーブル(試供品)を本端末の USB Type-C ポートと AC アダプタ(市販品)の USB Type-C ポートに接続して使用することもできます。
- AC アダプタ(市販品)を使用される場合には、USB Power Delivery 規格に対応した 20W 以上を供給できるものを推奨します。



LED ランプ

LEDランプの点灯色や点灯パターンによって、本端末の状態などの情報を知ることができます。



5 温度上昇警告ランプ

端末の状態	色と点灯パターン
高温による通信停止中	赤点灯
高温による通信制限中	橙点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)
正常な温度	消灯

6 電源ランプ

端末の状態	色と点灯パターン	
起動中	水色(シアン)点灯	
電力モード	15W モード	青点灯
	7.5W モード	緑点灯
	4.5W モード	橙点灯
電源供給能力不足	赤点灯	
工場リセット	水色(シアン)点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)	
FW アップデート中	水色(シアン)⇔青点滅(同じ間隔で交互に点灯)	

7 イーサネットランプ

端末の状態		色と点灯パターン
リンク速度	1000Mbps	緑点灯
	100Mbps	橙点灯
イーサネット オフ/リンク切断		消灯

8 Wi-Fi ランプ

端末の状態		色と点灯パターン
Wi-Fi モード	2.4GHz	緑点灯
	2.4GHz、5GHz	橙点灯
DFS チェック中		赤点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)
Wi-Fi オフ		消灯

9 5G/4G ランプ

端末の状態		色と点灯パターン
5G	Level 5、Level 4	青点灯
	Level 3	青点滅(長い点灯⇔短い消灯)
	Level 2	青点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)
	Level 1	青点滅(短い点灯⇔長い消灯)
4G	Level 5、Level 4	緑点灯
	Level 3	緑点滅(長い点灯⇔短い消灯)
	Level 2	緑点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)
	Level 1	緑点滅(短い点灯⇔長い消灯)
圏外/スタンバイ		赤点滅(同じ間隔で点灯⇔消灯)
PIN ロック/SIM カード認識エラー		赤点灯
ME-PIN ロック		橙点灯

お知らせ

- 電力モードは起動時に電源供給源(パソコンや AC アダプタなど)の供給能力を検出して供給能力に合ったモードで動作します。
7.5W/4.5W が検出された場合には通信機能に制限がかかりますので、USB Power Delivery 規格に対応したパソコンや AC アダプタのご使用を推奨します。
- ME-PIN とはセキュリティを向上させるため、本端末の起動時に 5G/4G の通信を停止(ロック)することができる機能です。

注意

- 温度上昇警告ランプが橙点滅または赤点灯した場合は継続して触れないでください。やけどの原因になります。

電力モードについて

本端末は USB Type-C ポート(電源ポート)にパソコンや AC アダプタ(市販品)などを接続して本端末が起動したときに、パソコンや AC アダプタなどの USB ポートからの電源供給能力を自動で検出して、電源供給能力に合わせた電力モードで動作します。

お知らせ

- 電源供給能力を自動で検出せずに手動で設定することができます。
設定ツールを使用した場合 →「USB モード」(P.64)
UNX-05G PC Utility を使用した場合 →「バスパワー設定」(P.86)
- 電源供給能力が低いパソコンや AC アダプタでは動作に制限がかかります。
→「各電力モードによる動作制限」(P.31)

■ 各電力モードについて

以下のような接続を行ったときにそれぞれの電力モードが検出されます。

15W モード

USB Power Delivery 規格に対応したパソコンや AC アダプタ、または 15W の供給能力があるパソコンや AC アダプタに USB Type-C ケーブル(試供品)を使用して本端末に接続した場合。

7.5W モード

USB Battery Charge 規格にのみ対応した AC アダプタに USB Type-A - USB Type-C の変換ケーブル(市販品)を使用して本端末に接続した場合や、電源供給能力が 7.5W に制限されたパソコンに USB Type-C ケーブル(試供品)を使用して本端末に接続した場合。

4.5W モード

USB 5Gbps(USB 3.2 Gen1)対応の USB Type-A のポート搭載したパソコンに USB Type-A - USB Type-C の変換ケーブル(市販品)を使用して本端末に接続した場合。

電源供給能力不足

USB2.0 対応の USB Type-A のポート搭載したパソコンに USB Type-A - USB Type-C の変換ケーブル(市販品)を使用して本端末に接続した場合。

5G/4G、Wi-Fi、イーサネットの通信は使用できません。

注意

- USB Type-A - USB Type-C の変換ケーブル(市販品)を使用する場合は、以下にご注意ください。
長いケーブルを使用すると、電圧降下により本端末の動作が不安定になることがあります。
50cm 以下のケーブルを推奨します。
USB2.0 のみ対応のケーブルを使用すると、通信速度が遅くなる場合があります。
充電専用のケーブルを使用すると、電源供給能力不足を検出する場合があります。

■ 各電力モードによる動作制限

電力モードでの動作の制限は以下のとおりです。

ルーターモード

電力モード	Wi-Fi		イーサネット	5G/4G (※1)
	2.4GHz	5GHz		
15W	使用可 (制限なし)	使用可 (制限なし)	使用可 (制限なし)	5G SA/5G NSA/4G (制限なし)
7.5W	設定が有効となっていた場合は使用可	使用不可	Wi-Fi が無効に設定されており、イーサネットが有効に設定されていたときのみ使用可	5G SA/4G
4.5W	使用不可	使用不可	使用不可	5G SA/4G 送信電力制限あり (※2) 通信速度制限あり
電源供給能力不足	使用不可	使用不可	使用不可	使用不可

Wi-Fi とイーサネットの有効/無効の設定は以下を参照してください。

→「Wi-Fi 基本設定」(P.54)

「イーサネットインターフェース」(P.69)

USB モデムモード

電力モード	Wi-Fi		イーサネット	5G/4G (※1)
	2.4GHz	5GHz		
15W	使用不可	使用不可	使用不可	5G SA/5G NSA/4G (制限なし)
7.5W	使用不可	使用不可	使用不可	5G SA/4G
4.5W	使用不可	使用不可	使用不可	5G SA/4G 送信電力制限あり (※2) 通信速度制限あり
電源供給能力不足	使用不可	使用不可	使用不可	使用不可

※1 使用可能な最大の通信方式です。

ネットワークモードの設定により使用する通信方式が制限されます。

設定ツールを使用した場合 →「ネットワークモードを設定する」(P.40)

UNIX-05G PC Utility を使用した場合 →「ネットワーク設定」(P.85)

※2 送信電力制限により送信出力を下げていますので、通信可能なエリアは狭くなります。

対応機器について

■ USB ポートに接続して通信できる機器

USB 5Gbps(USB 3.2 Gen1)以上、および USB Power Delivery 規格に対応した USB Type-C ポートが装備されていることを推奨します。

USB 5Gbps に対応した USB Type-A ポートが装備されている場合には、市販の USB 5Gbps(USB 3.2 Gen1)以上の USB Type-A から USB Type-C への変換ケーブルを使用してください。ただし、この場合には本端末への電源供給能力が不足しますので通信機能に制限がかかります。

→「各電力モードによる動作制限」(P.31)



お知らせ

- USB2.0 Type-A ポートでは本端末への電源供給能力不足となるため使用できません。

対応している OS は以下のとおりです。

ルーターモード

- Windows 10 [32/64bit]
- Windows 11 [64bit]
- macOS 10.12-10.15 [64bit]
- macOS 11 [64bit]
- macOS 12 [64bit]
- Chrome OS

USB モデムモード

- Windows 10 [32/64bit]
- Windows 11 [64bit]

■ Wi-Fi 接続して通信できる機器

無線 LAN 規格 IEEE802.11b/g/n/ax(2.4GHz 帯)、IEEE802.11a/n/ac/ax(5GHz 帯)に対応している Wi-Fi 対応機器と接続できます。

■ イーサネットポートに接続して通信できる機器

IEEE802.3ab(1000BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)に対応したイーサネットポートが装備されている機器と接続できます。

市販の LAN ケーブルを使用する場合は、本端末の性能を最大限発揮させるため、エンハンスカテゴリ 5(CAT5e)以上の LAN ケーブルを使用してください。CAT5 以下の LAN ケーブルを使用する

と、通信速度が遅くなる場合があります。

■ 対応する Web ブラウザ

対応している Web ブラウザは以下のとおりです。

Windows の場合

- Google Chrome 109 以上
- Microsoft Edge 109 以上
- Mozilla Firefox 109 以上

Mac の場合

- Safari 16.2 以上
- Google Chrome 109 以上
- Mozilla Firefox 109 以上

Android 搭載端末の場合

- Google Chrome 109 以上
- Mozilla Firefox 109 以上

iPhone/iPod touch/iPad の場合

- Safari 16.2 以上

2

各種機能を設定する (Web ブラウザ)

設定ツールについて	35
設定ツールの起動とログイン	35
設定ツールの画面	37
WAN 設定	40
ネットワーク設定	40
プロファイル管理	42
PIN コード管理	43
LAN 設定	47
DHCP	47
スタティック DHCP	48
NAT	49
セキュリティ	49
Wi-Fi 設定	54
Wi-Fi 基本設定	54
Wi-Fi 拡張設定	56
Wi-Fi MAC フィルタリング	57
プライバシーセパレータ	58
セキュリティ	59
システム管理	59
ME-PIN	61
システム	63
SNTP	63
USB モード	64
ソフトウェアとリセット	64
動作温度	68
デバイス情報	68
イーサネットインターフェース	69
システムログ	69

設定ツールについて

本端末と接続したパソコンおよび携帯端末から、Web ブラウザを利用して本端末の各種機能を設定することができます。以下の手順は本端末とパソコンを USB Type-C ケーブル(試供品)で接続した場合を例にしています。

設定ツールの起動とログイン

- 1 Web ブラウザを起動する
- 2 URL を入力する
URL の入力欄に[http://192.168.0.1/]と入力し、[Enter]を押します。
- 3 ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力する

お知らせ

- お買い上げ時のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。
お買い上げ時はユーザー名欄とパスワード欄に管理者権限のユーザー名とパスワードを入力してください。

権限	ユーザー名	パスワード	使用権限
管理者	admin	admin	本端末の全ての機能が使用できます。
ユーザー	user	user	設定できる機能に制限があります。 詳細は「メニュー一覧 (Web ブラウザ)」 (P.111)を参照してください。

4 ログインをクリックする

ログインに成功すると設定ツール画面が表示されます。

お願い

- お買い上げ時の管理者権限パスワードを使用されている場合、ログイン画面にパスワードの変更を促すメッセージが表示されます。また、ログインするとシステム管理画面が表示されますので、セキュリティ保護のため、パスワードを必ず変更して使用してください。
- ログインパスワードの変更については、「システム管理」(P.59)をご覧ください。

設定ツールの画面

設定ツールの画面について、ステータス画面（[ホーム]→[ステータス]）を順にクリック）を例に説明します。



① 設定メニュー

② インターネット情報

接続ネットワークや接続時間、各種アドレスなどを表示します。

③ 統計情報

利用したデータ通信量が表示されます。

[統計情報をリセット]をクリックするとデータ通信量がリセットされます。



注意

- 表示される送信データ量/受信データ量/総データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なる場合があります。
- 5G/LTE 回線以外の送信データ量/受信データ量/総データ量はカウントされません。

4 状態表示

5G/4G 電波状態

表示						
状態	圏外	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5

モバイル通信状態

表示		
状態	モバイル通信 切断	モバイル通信中

通信方式

表示		
状態	5G 通信	4G 通信

国際ローミング

表示	
状態	国際ローミング時

Wi-Fi 状態

表示		
状態	Wi-Fi OFF	Wi-Fi ON

電力モード

表示				
状態	15W モード	7.5W モード	4.5W モード	電力供給 能力不足

温度上昇警告

表示		
状態	高温による 通信制限中	高温による 通信停止中

SIM カード

表示	
状態	SIM カード未挿入/ PIN コード、PIN ロックコード入力に よる解除待ち

FW アップデート情報

表示	
状態	FW アップデート 情報あり

5 ログアウト

設定ツールからログアウトします。

6 言語設定

設定ツールの言語を設定します。

7 ヘルプ

取扱説明書(本書)を PDF ファイルで表示します。

8 クライアント

USB、Wi-Fi、優先 LAN に接続している機器の台数などを表示します。

9 手動接続

手動接続状態を表示します。

自動接続設定を手動に設定したときのみ表示されます。 →「自動接続」(P.41)

WAN 設定

ネットワークに接続するための設定を行います。

ネットワーク設定

ネットワーク設定

使用するネットワークモードや通信事業者を設定します。

■ ネットワークモードを設定する

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[ネットワーク設定]→[ネットワークモード]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

ネットワークモード	使用するネットワークモードを選択します。 <ul style="list-style-type: none">●5G（初期値） 5G NSA/4G の通信方式が利用できます。●5G SA Only 5G SA の通信方式が利用できます。●4G Only 4G の通信方式が利用できます。●自動(5G SA>5G) 5G SA/5G NSA/4G の通信方式が利用できます。 5G SA 方式に優先的に接続します。
-----------	--

- 3 [適用]をクリックする



注意

- ネットワークモードを「5G」または「自動(5G SA>5G)」に設定している場合、7.5Wモードや4.5Wモードで動作中は5G NSAの通信方式が利用できません。
電力モードによる動作制限については「各電力モードによる動作制限」(P.31)をご覧ください。
- 「自動(5G SA>5G)」に設定していても、電波状況により5G SA方式が優先されない場合があります。

■ ネットワーク検索を設定する

1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[ネットワーク設定]→[ネットワーク検索]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

ネットワーク検索	使用するネットワークの検索の自動/手動を選択します。 ●自動 (初期値) ●手動
----------	--

3 [適用]をクリックする

4 [手動]を選択した場合は[OK]をクリックする
ネットワークを検索し、ネットワーク一覧を表示します。

お知らせ

- ネットワーク検索には時間がかかる場合があります。

5 利用するネットワークを選択して[位置登録]をクリックする

自動接続

ローミングや接続の自動/手動を設定します。

1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[ネットワーク設定]→[自動接続]を順にクリックする

自動接続	自動接続を選択します。 ●自動接続(ローミング除く)(初期値) ●手動 ●自動接続
------	--

お知らせ

- ローミングを行う場合には、[手動]または[自動接続]を選択してください。
- [手動]を選択した場合にはステータス画面に手動で接続、切断を操作する画面が追加されません。→「設定ツールの画面」(P.37)

プロフィール管理

APN(アクセスポイント名)プロフィールを設定します。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[プロフィール管理]を順にクリックする
- 2 [新規]をクリックする
- 3 プロフィールを設定する
[プロフィール名]、[APN]、[ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[認証方式]、[IP タイプ]を選択します。

プロフィール名	任意のプロフィール名を入力します。 半角英数および記号(,";:\&%+'<>?を除く)最大 32 文字が使用可能です。
認証方式	事業者より指定される認証方式を選択します。 ●None (初期値) ●PAP ●CHAP
APN	事業者より提供されている APN を入力します。 半角英数最大 62 文字、.(ドット)、-(ハイフン)が使用可能です。
ユーザー名	事業者より提供されているユーザー名を入力します。 半角英数および記号(,";:\&%+'<>?を除く)最大 64 文字が使用可能です。
パスワード	事業者より提供されているパスワードを入力します。 半角英数および記号(,";:\&%+'<>?を除く)最大 32 文字が使用可能です。 <input type="password"/> をクリックすると入力しているパスワードを表示させることができます。
IP タイプ	接続方式を選択します。 ●IPv4 ●IPv6 ●IPv4/v6 (初期値)

- 4 入力内容を確認して、[保存]をクリックする

お知らせ

- プロフィールを複数登録した場合、プロフィールを指定する際は、[プロフィール名]から使用するプロフィールを選択し[適用]をクリックしてください。
- プロフィールは最大 16 個の作成が可能です。

PIN コード管理

SIM カードには、「PIN コード」という暗証番号があります。この暗証番号により、ユーザー固有データと第3者不正使用に対する強力なセキュリティ機能を実現しています。

お買い上げ時、PIN コードは無効になっています。有効にすることで、紛失、または盗難にあった際、不正に使用されることがありません。



注意

- PIN コードの初期値は通信事業者により異なります。
- PIN コードには「生年月日」、「電話番号の一部」など他人にわかりやすい番号は避けてください。また、設定した PIN コードは、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。
- PIN コードや PIN ロック解除コード(PUK)は、他人に知られないように十分に注意してください。
- PIN コードの入力を3回連続で間違えた場合、PIN ロック解除コードが必要になります。ご契約の通信事業者にご確認ください。
- PIN ロック解除コードの入力を10回連続で間違えると、PUK ロック状態となります。その場合は、ご契約の通信事業者の窓口へお問い合わせ下さい。

■ PIN コードの設定を有効にする

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[PIN コード管理]を順にクリックする
- 2 [PIN コード要求]で[有効]を選択し、[PIN コード]に PIN コードを入力する

PIN コード要求	PIN コード要求の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none">●有効●無効（初期値）
PIN コード	現在設定されている PIN コードを入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。 お買い上げ時の初期値はご契約の通信事業者によって異なります。  をクリックすると入力している PIN コードを表示させることができます。

- 3 [適用]をクリックする

■ PIN コードの設定を無効にする

[PIN コード要求]が[有効]の場合、PIN コードを無効にします。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[PIN コード管理]を順にクリックする
- 2 [PIN コード要求]で[無効]を選択し、[PIN コード]に PIN コードを入力する
- 3 [適用]をクリックする

■ PIN コードを変更する

[PIN コード要求]が[有効]の場合、PIN コードを変更することができます。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[PIN コード管理]を順にクリックする
- 2 [PIN コード要求]で[変更]を選択する

PIN コード要求	PIN コード要求を選択します。 ●有効 ●無効（初期値） ●変更
-----------	--

- 3 以下の項目を設定する

PIN コード	現在設定されている PIN コードを入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。
新しい PIN コード	新しく設定する SIM カードの PIN コードを入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。
PIN コードの確認	新しく設定する SIM カードの PIN コードを再度入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。

※PIN コード入力欄の  をクリックすると入力しているパスワードを表示させることができます。

- 4 [適用]をクリックする

■ PIN 自動入力を設定する

[PIN コード要求]が[有効]の場合、PIN 自動入力を設定することができます。

[PIN 自動入力]が[有効]に設定している場合、本端末の起動時に PIN コードが自動で入力され、ロックが解除されます。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[PIN コード管理]を順にクリックする
- 2 [PIN 自動入力]で[有効]または[無効]を選択します。

PIN 自動入力	PIN 自動入力の有効/無効を選択します。 ●有効 ●無効（初期値）
----------	--

■ PIN コードを解除する

[PIN コード要求]を[有効]に設定した場合、本端末の起動時に PIN コードを入力します。 [PIN 自動入力]が[有効]の場合は PIN コードの入力は不要です。
PIN コードを解除するまでインターネットに接続できません。

- 1 設定ツール画面で[WAN 設定]→[ネットワーク設定]/[プロファイル管理]/[PIN コード管理]のいずれかをクリックすると、PIN コード入力要求画面が表示されます。
- 2 [PIN コード]に PIN コードを入力する

PIN コード	現在設定されている PIN コードを入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。  をクリックすると入力している PIN コードを表示させることができます。
---------	--

- 3 [適用]をクリックする



- [ホーム画面へ]をクリックした場合は、[WAN 設定]→[PIN コード管理]をクリックすると PIN コード入力要求画面が再度表示されます。

■ PIN ロックを解除する

PIN コードの入力を 3 回連続で間違えると、設定した PIN コードが無効になり、PIN ロック状態となります。その場合、PIN ロックの解除コード(PUK)の入力により、PIN コードを再発行する事ができます。

PIN ロックの解除コード(PUK)については、ご契約の通信事業者にご確認ください。

1 以下の項目を設定する

PUK コード	ご利用中の SIM カードの PIN ロックの解除コード (PUK) を入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。
新しい PIN コード	新しく設定する SIM カードの PIN コードを入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。
PIN コードの確認	新しく設定する SIM カードの PIN コードを再度入力します。 4～8 桁の半角数字が使用可能です。

※PIN コード入力欄の  をクリックすると入力しているパスワードを表示させることができます。

2 [適用]をクリックする

LAN 設定

DHCP

DHCP サーバー(LAN 内の端末に IP アドレスを割り当てる)機能やファイアウォール(インターネットからの不正な侵入を防ぐ機能)などを設定します。

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[DHCP]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

DHCP サーバー	DHCP サーバーの有効/無効を選択します。 ●有効 (初期値) ●無効
IP アドレス	本端末のプライベート IP アドレスを設定します。 192.168.0.1 (初期値) 192.168.0.1 ~ 192.168.255.254 の半角数字が使用可能です。
サブネットマスク	本端末のサブネットマスクを設定します。 255.255.255.0 (初期値) 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。
DHCP IP アドレス範囲	本端末に接続された機器に割り当てる IP アドレスの開始と終了を設定します。 192.168.0.2 ~ 192.168.0.254 (初期値) 192.168.0.1 ~ 192.168.0.254 の半角数字が使用可能です。
DHCP リース期間	本端末に接続された機器に割り当てた IP アドレスのリース期間を設定します。 720 分(初期値) 2 ~ 43200 の半角数字が使用可能です。
DNS モード	DNS サーバーのアドレスの自動/手動を選択します。 ●手動 ●自動(初期値)
優先 DNS サーバー	本端末の優先 DNS サーバーを入力します。 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。
代替 DNS サーバー	本端末の代替 DNS サーバーを入力します。 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。

注意

- DHCP サーバーを無効に設定すると、Web ブラウザからアクセスができなくなります。再度アクセスする場合、PC から手動で IP アドレスを設定すれば、Web ブラウザからアクセスできます。
- 設定を変更すると再起動しますが、IP アドレスを変更した場合には再起動後に自動的に画面が「再起動中です。」から切り替わらない場合があります。変更した IP アドレスで再度ログインしてください。

3 [適用]をクリックする

スタティック DHCP

DHCP サーバーから割り当てる IP アドレスの内、任意の MAC アドレスに固定 IP を割り当てる機能です。

- 1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[スタティック DHCP]を順にクリックする
- 2 [追加]をクリックする
64 個まで登録することができます。
- 3 以下の項目を設定する

ホスト名	任意のホスト名を入力します。 半角英数および記号(,";\&%+'<>?を除く)最大 32 文字が使用可能です。
LAN IP アドレス	固定 IP を割り当てさせる端末側の IP アドレスを入力します。 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。
MAC アドレス	固定 IP を割り当てさせる端末側の MAC アドレスを入力します。 6 組の 16 進数 2 桁が使用可能です。 (00:00:00:00:00:00 ~ FF:FF:FF:FF:FF:FF)
ステータス	登録したスタティック DHCP の ON/OFF を選択します。 ●ON(初期値) ●OFF

4 [保存]をクリックする



- 登録したリストの内容の変更、削除は[オプション]の[編集]、[削除]で行うことができます。

NAT

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[NAT]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

TCP NAT タイマー (秒)	TCP セッション確立後、通信をしていない状態でセッションを保持できる時間を設定します。 300 (初期値) 30 ~ 86400 の半角数字が使用可能です。
UDP NAT タイマー (秒)	通信をしていない状態で UDP ステート管理を保持できる時間を設定します。 300 (初期値) 30 ~ 86400 の半角数字が使用可能です。

3 [適用]をクリックする

セキュリティ

DMZ 設定

LAN 内にある特定の端末を、他の端末から隔離された DMZ ホストとして設定できます。ポート番号の設定をしなくても、Web サーバーを公開したり、オンラインゲームなどを利用したりできるようになります。

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[DMZ 設定]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

DMZ 設定	DMZ 機能の有効/無効を選択します。 ●有効 ●無効(初期値)
DMZ IP アドレス	DMZ ホストの IP アドレスを設定します。 [DMZ 設定]を[有効]にしているときに設定できます。 192.168.0.2 (初期値) 192.168.0.1 ~ 192.168.255.254 の半角数字が使用可能です。

3 [適用]をクリックする

ポートフォワーディング

WAN 側から LAN 内の特定の LAN 端末にアクセスできるように設定できる機能です。サーバーや FTP を公開する場合、一部のオンラインゲームやメッセージングソフトなどを利用する場合に設定します。

- 1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[ポートフォワーディング]を順にクリックする
- 2 [追加]をクリックする
64 個まで登録することができます。
- 3 以下の項目を設定する

名前	任意の名前を入力します。 半角英数および記号(,";\&%+'<>?を除く)最大 31 文字が使用可能です。
WAN ポート番号	ポートフォワーディングの対象とする WAN 側のポート番号を入力します。 0 ~ 65535 の半角数字が使用可能です。
LAN IP アドレス	ポートフォワーディングの対象とする LAN 側の IP アドレスを入力します。 192.168.0.1 ~ 192.168.255.254 の半角数字が使用可能です。
LAN ポート番号	ポートフォワーディングの対象とする LAN 側のポート番号を入力します。 0 ~ 65535 の半角数字が使用可能です。
プロトコル	ポートフォワーディングの対象とするプロトコルを選択します。 ●TCP/UDP(初期値) ●TCP ●UDP
ステータス	ポートフォワーディング機能の ON/OFF を選択します。 ●ON(初期値) ●OFF

- 4 [保存]をクリックする



お知らせ

- 登録したリストの内容の変更、削除は[オプション]の[編集]、[削除]で行うことができます。

IP / ポートフィルタ

登録した IP アドレスのみアクセスを許可する、または登録した IP アドレスのアクセスを禁止する設定ができます。

1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[IP/ポートフィルタリング]を順にクリックする

2 ステータスを選択する

ステータス	IP フィルタリングのステータスを選択します。 <ul style="list-style-type: none">●Disable (初期値)●Blacklist 64 個まで登録することができます。●Whitelist 64 個まで登録することができます。
-------	--

3 [追加]をクリックする

4 以下の項目を設定する

LAN IP アドレス	IP フィルタリングの対象とする LAN 側の IP アドレスを入力します。 IPv4: 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。 IPv6: 8 組の 16 進数 4 桁が使用可能です。 ※8 組の番号間は「:」で区切る必要があります。
LAN ポート番号	IP フィルタリングの対象とする LAN 側のポート番号を入力します。 0 ~ 65535 の半角数字が使用可能です。
WAN IP アドレス	IP フィルタリングの対象とする WAN 側の IP アドレスを入力します。 IPv4: 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。 IPv6: 8 組の 16 進数 4 桁が使用可能です。 ※8 組の番号間は「:」で区切る必要があります。
WAN ポート番号	IP フィルタリングの対象とする WAN 側のポート番号を入力します。 0 ~ 65535 の半角数字が使用可能です。
プロトコル	IP フィルタリングの対象とするプロトコルを選択します。 <ul style="list-style-type: none">●TCP/UDP (初期値)●TCP

	<ul style="list-style-type: none"> ●UDP ●ICMP
ステータス	ポートフォワーディング機能の ON/OFF を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ●ON(初期値) ●OFF

5 [保存]をクリックする



- 登録したリストの内容の変更、削除は[オプション]の[編集]、[削除]で行うことができます。

WAN Ping ブロック

WAN 側から本端末に Ping を送信された場合、Ping の応答を返すように設定することができます。

- 1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[WAN Ping ブロック]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

WAN Ping ブロック設定	WAN Ping ブロック機能の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ●無効(初期値) Ping 応答なし ●有効 Ping 応答あり
WAN IP アドレス範囲	有効に設定した場合に Ping 応答を返す WAN IP アドレスの範囲を入力します。 0 ~ 255 の 4 組の半角数字が使用可能です。 (入力例: X.X.X.X-X.X.X.X または X.X.X.X) WAN IP アドレス範囲が空の場合、すべての WAN IP アドレスからの Ping に応答します。

- 3 [適用]をクリックする

UPnP

UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)は、周辺機器、情報家電など UPnP 対応デバイスを接続できる機能です。

- 1 設定ツール画面で[LAN 設定]→[セキュリティ]→[UPnP]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

ステータス	UPnP 機能の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none">●有効(初期値)●無効
-------	---

Wi-Fi 設定

Wi-Fi 基本設定

Wi-Fi の基本的な機能を設定できます。

- 1 設定ツール画面で[Wi-Fi 設定]→[Wi-Fi 基本設定]を順にクリックする
- 2 以下の項目を設定する

Wireless Communication	Wi-Fi 機能の有効/無効を選択します。 ●有効 (初期値) ●無効
Multi SSID	Multi SSID 機能の有効/無効を選択します。 [Wireless Communication]を[有効]に設定しているときに選択できます。 ●無効(2.4GHz のみ) (初期値) ●有効(2.4GHz+5GHz)
Wi-Fi 出力	Wi-Fi の送信出力を選択します。 [Wireless Communication]を[有効]に設定しているときに選択できます。 ●高 (初期値) ●低

- 3 以下の項目を設定する

2.4GHz の Wi-Fi は[Wireless Communication]を[有効]に設定しているときにご使用になれます。
[無効]に設定している場合は 2.4GHz の項目を設定することはできません。

5GHz の Wi-Fi は[Wireless Communication]を[有効]に設定し、かつ[Multi SSID]を[有効 (2.4GHz+5GHz)]にしたときにご使用になれます。 [Wireless Communication]を[無効]、または [Multi SSID]を[無効(2.4GHz のみ)]に設定している場合は 5GHz の項目を設定できません。

2.4GHz

SSID	ネットワーク名 (SSID) を設定します。 UNX05G1XXXXXX (初期値) ※XXXXXX: 端末の固有番号が設定させています。本端末の底面ラベル (右下) から確認できます。 半角英数および記号 (",":;¥ を除く) 最大 32 文字が使用可能です。
Wi-Fi 暗号化方式	セキュリティ (暗号化方式) を選択します。 ●WPA2-PSK (TKIP/AES) ●WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES) ●WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES) (初期値)

	<ul style="list-style-type: none"> ●WPA3-SAE (AES)
Wi-Fi 暗号化キー	<p>Wi-Fi 暗号化キー(パスワード)を設定します。 8桁の半角英数字 (初期値) ※端末の固有番号が設定されています。 <input type="checkbox"/> をクリックすると入力している Wi-Fi 暗号化キーを表示させることができます。 8~63文字の半角英数および記号(,";¥を除く)が使用可能です。</p>
SSID ブロードキャスト	<p>SSID が Wi-Fi 対応機器から見えないようにするかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●表示 (初期値) ●隠す
PMF	<p>Wi-Fi 暗号化強化(PFM)を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●有効 (初期値) ●無効

5GHz

SSID	<p>ネットワーク名(SSID)を設定します。 UNX05G2XXXXXX (初期値) ※XXXXXX: 端末の固有番号が設定されています。本端末の底面ラベル(右下)から確認できます。 半角英数および記号(,";¥を除く)最大 32文字が使用可能です。</p>
Wi-Fi 暗号化方式	<p>セキュリティ(暗号化方式)を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●WPA2-PSK (TKIP/AES) ●WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES) ●WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES) (初期値) ●WPA3-SAE (AES)
Wi-Fi 暗号化キー	<p>Wi-Fi 暗号化キー(パスワード)を設定します。 8桁の半角英数字 (初期値) ※端末の固有番号が設定されています。 本端末の底面ラベル(右下)から確認できます。 <input type="checkbox"/> をクリックすると入力している Wi-Fi 暗号化キーを表示させることができます。 8~63文字の半角英数および記号(,";¥を除く)が使用可能です。</p>
SSID ブロードキャスト	<p>SSID が Wi-Fi 対応機器から見えないようにするかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●表示 (初期値) ●隠す
PMF	<p>Wi-Fi 暗号化強化(PFM)を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●有効 (初期値) ●無効

4 [適用]をクリックする

Wi-Fi 拡張設定

Wi-Fi の詳細機能を設定できます。

1 設定ツール画面で[Wi-Fi 設定]→[Wi-Fi 拡張設定]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

ステータス	Wi-Fi 拡張設定の有効/無効を設定します。 ●無効 ●有効 (初期値)
-------	---

3 以下の項目を設定する

[ステータス]を[有効]に設定しているときに設定を変更することができます。

2.4GHz

802.11 Mode	モードを選択します。 ●802.11b ●802.11b/g ●802.11b/g/n ●802.11b/g/n/ax (初期値)
Wi-Fi Channel	チャンネルを選択します。 ●Auto(1-11ch) (初期値) ●1 ●2 ●3 ●4 ●5 ●6 ●7 ●8 ●9 ●10 ●11 ●12 ●13
周波数帯域	帯域幅を選択します。 ●HT20/HT40 (初期値) ●HT20
最大接続クライアント数	最大接続クライアント数を選択します。 ●1 ●2 ●3 ●4 ●5 ●6 ●7 ●8 ●9 ●10 ●11 ●12 ●13 ●14 ●15 ●16 (初期値)

5GHz

802.11 Mode	モードを選択します。 ●802.11a ●802.11a/n ●802.11a/n/ac ●802.11a/n/ac/ax (初期値)
-------------	---

Wi-Fi Channel	<p>チャンネルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋内（初期値） ●屋外 ●屋外(144ch 有) <p>[屋内]では W52/W53/W56 の帯域がご使用になれます。 [屋外]、[屋外(144ch 有)]では W56 の帯域がご使用になれます。</p>
周波数帯域	<p>帯域幅を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●HT80（初期値） ●HT20 ●HT40
最大接続クライアント数	<p>最大接続クライアント数を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1 ●2 ●3 ●4 ●5 ●6 ●7 ●8 ●9 ●10 ●11 ●12 ●13 ●14 ●15 ●16（初期値）

お知らせ

- 5GHz 帯で W56 に含まれる 144ch を使用する場合は、[Wi-Fi Channel]を[屋外(144ch 有)]に設定してください。
ただし、[屋外(144ch 有)]に設定した場合、144ch に対応していない Wi-Fi 対応機器と通信ができなくなることがあります。

4 [適用]をクリックする

Wi-Fi MAC フィルタリング

登録した MAC アドレスのみアクセスを許可する、または登録した MAC アドレスのアクセスを禁止する設定ができます。

1 設定ツール画面で[Wi-Fi 設定]→[Wi-Fi MAC フィルタリング]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

ステータス	<p>Wi-Fi MAC フィルタリングのステータスを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Disable（初期値） ●Blacklist <ul style="list-style-type: none"> 8 個まで登録することができます。 ●Whitelist <ul style="list-style-type: none"> 8 個まで登録することができます。
-------	---

3 [追加]をクリックする

4 以下の項目を設定する

MAC アドレス	MAC アドレスを入力します。 6 組の 16 進数 2 桁が使用可能です。 (00:00:00:00:00:00 ~ FF:FF:FF:FF:FF:FF)
オプション	MAC アドレスを設定したら[OK]または[キャンセル]をクリックします。

5 [オプション]で[OK]を選択した場合は[適用]をクリックする



- 登録したリストの内容の変更、削除は[オプション]の[編集]、[削除]で行うことができます。

プライバシーセパレータ

1 設定ツール画面で[Wi-Fi 設定]→[プライバシーセパレータ]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

SSID アイソレーション	2.4GHz に接続している Wi-Fi 対応機器と 5GHz に接続している Wi-Fi 対応機器との間での相互通信をするか選択します。 ●有効 ●無効 (初期値)
プライバシーセパレータ	同時に接続している Wi-Fi 対応機器同士の相互通信をするか選択します。 ●有効 (初期値) ●無効

セキュリティ



お知らせ

- 管理者権限でログインしたときに[セキュリティ]の設定をすることができます。
ユーザー権限でログインした場合には設定ツール画面に[セキュリティ]は表示されません。

システム管理

ログインの管理者権限パスワード、ユーザー権限のユーザー名、パスワードを変更することができます。

1 設定ツール画面で[セキュリティ]→[システム管理]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

管理者パスワード

現在のパスワード	管理者の現在のパスワードを入力します。 admin（初期値） 4～32文字の半角英数字および記号(,";:\&%+'<>?を除く)が使用可能です。
新しいパスワード	管理者の新しいパスワードを入力します。 4～32文字の半角英数字および記号(,";:\&%+'<>?を除く)が使用可能です。
パスワード確認	管理者の新しいパスワードを入力します。(再入力) 4～32文字の半角英数字および記号(,";:\&%+'<>?を除く)が使用可能です。

※パスワード入力欄の  をクリックすると入力しているパスワードを表示させることができます。

ユーザー管理

ユーザー名	ユーザー名を入力します。 user（初期値） 4～32文字の半角英数字および記号(,";:\&%+'<>?を除く)が使用可能です。
現在のパスワード	ユーザーの現在のパスワードを入力します。 user（初期値） 4～32文字の半角英数字および記号(,";:\&%+'<>?を除く)が使用可能です。
新しいパスワード	ユーザーの新しいパスワードを入力します。 4～32文字の半角英数字および記号(,";:\&%+'<>?を除く)が使用可能です。

パスワード確認

ユーザーの新しいパスワードを入力します。(再入力)
4~32 文字の半角英数字および記号(,";\&%+'<>?を除く)が
使用可能です。

※パスワード入力欄の  をクリックすると入力しているパスワードを表示させることができます。

お知らせ

- 管理者権限のユーザー名の変更はできません。ご了承ください。
- ユーザー名、パスワードを万が一お忘れになられた場合は、リセットボタンを 5 秒以上押し続けて、お買い上げ時の状態に戻してください。

3 [適用]をクリックする

ME-PIN

ME-PIN とはセキュリティを向上させるため、本端末の起動時に 5G/4G の通信を停止(ロック)することができる機能です。



- 設定した ME-PIN は、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。

■ ME-PIN の設定を有効にする

- 1 設定ツール画面で[セキュリティ]→[ME-PIN]を順にクリックする
- 2 [ME-PIN 設定]で[有効]を選択し、[ME-PIN コード]に ME-PIN コードを入力する

ME-PIN 設定	ME-PIN の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none">●有効●無効 (初期値)●アンロック ※アンロックは設定できません。ME-PIN が解除されたときに表示します。
ME-PIN コード	ME-PIN コードを入力します。 6 文字の半角数字が使用可能です。

■ ME-PIN の設定を無効にする

[ME-PIN 設定]が[有効]([ME-PIN 設定]に[アンロック]が表示)の場合、ME-PIN コードを無効にします。

- 1 設定ツール画面で[セキュリティ]→[ME-PIN]を順にクリックする
- 2 [ME-PIN 設定]で[無効]を選択し、[ME-PIN コード]に ME-PIN コードを入力する

ME-PIN 設定	ME-PIN の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none">●有効●無効●アンロック ※アンロックは設定できません。ME-PIN が解除されたときに表示します。
ME-PIN コード	ME-PIN コードを入力します。 6 文字の半角数字が使用可能です。

3 [適用]をクリックする

■ ME-PIN を解除する

[ME-PIN 設定]を[有効]に設定した場合、本端末の起動時に ME-PIN コードを入力します。
ME-PIN を解除するまでインターネットに接続できません。

1 Web ブラウザを起動し、URL を入力する

URL の入力欄に[http://192.168.0.1/]と入力し、[Enter]を押します。

2 ME-PIN 入力画面が表示されるので、設定した ME-PIN コードを入力する

ME-PIN コード	ME-PIN コードを入力します。 6 文字の半角数字が使用可能です。
------------	--

3 [アンロック]をクリックする

ME-PIN が解除されるとログイン画面が表示されます。

お知らせ

- ME-PIN コードを万が一お忘れになられた場合は、リセットボタンを 5 秒以上押し続けて、お買い上げ時の状態に戻してください。

システム

SNTP

1 設定ツール画面で[システム]→[SNTP]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

現在時刻	現在の時刻を表示します。 画面右の[時刻変更]から手動で時刻を変更できます。
ステータス	同期の状態が表示されます。
最終同期	最終同期時刻が表示されます。
タイムゾーン	現在設定されているタイムゾーンが表示されます。 画面右の[タイムゾーン変更]から世界のタイムゾーンを選択することができます。
時刻フォーマット	時刻のフォーマットを選択できます。 ●12 時間表記 ●24 時間表記（初期値）

3 以下の項目を設定する

ネットワーク時刻との自動同期を有効にする	SNTP サーバーと自動で同期させることができます。 チェックマークあり（初期値）
時刻同期サーバー1	時刻同期(SNTP)サーバーを設定します。 5箇所まで選択可能です。
時刻同期サーバー2	
時刻同期サーバー3	
時刻同期サーバー4	
時刻同期サーバー5	
夏時間を有効にする	夏時間を設定することができます。 チェックマークなし（初期値） チェックマークを付けると夏時間開始時刻、夏時間終了時刻、夏時間調整オフセットが設定できます。

お知らせ

- サマータイムの実施期間は、国や地域によって異なります。
- サマータイム制度は、国や地域の事情により変更される場合があります。

4 [適用]をクリックする

USB モード

1 設定ツール画面で[システム]→[USB モード]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

USB バスパワー設定	USB バスパワーを選択します。 USB バスパワーを設定します。パソコンや AC アダプタなどの USB ポートからの電源供給能力を自動で検出、または 4.5W/7.5W 固定に設定することができます。 ●自動（初期値） ●4.5W ●7.5W
USB 設定 (Router/USB モデム)	動作モードを選択します。 ルーターモードと USB モデムモードを切り替えます。 ●Router（初期値） ●USB モデム

3 [USB 設定]を変更した場合は[OK]をクリックする
本端末は再起動します。

ソフトウェアとリセット

自動再起動

1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[自動再起動]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

自動再起動	自動再起動の有効/無効を選択します。 ●有効 ●無効（初期値）
再起動時刻	再起動の時刻を設定します。 ※動作状況により時刻どおりに再起動しない場合があります。 自動再起動の設定が[有効]のときに設定できます。 00:00 ~ 23:00 が選択できます。 (分単位の設定はできません。)

モード

再起動周期の期間を設定します。
自動再起動の設定が[有効]のときに設定できます。

- 日
毎日の設定です。
- 週（初期値）
月火水木金土日 にチェックマークを付けます。

3 [適用]をクリックする

バックアップ／リストア

本端末に設定した内容をパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込んだりできます。

■ バックアップする

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[バックアップ／リストア]を順にクリックする
- 2 [バックアップ]をクリックする
- 3 パソコンのわかりやすい場所へ保存する
※ブラウザの設定により動作が異なる場合があります。

■ リストア(復元)する

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[バックアップ／リストア]を順にクリックする
- 2 [ファイル]をクリックする→以前にバックアップした設定内容のファイルを選択する
- 3 [リストア]をクリックする
設定内容が読み込まれ、本端末は自動的に再起動します。

FW アップデート

FW(ファームウェア)は本端末を動作させるソフトウェアのことです。FW を更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。
FW は最新のバージョンで使用してください。

1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[FW アップデート]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

FW 自動アップデート	FW 自動アップデートの有効/無効を選択します。 ●有効 定期的にアップデート情報を確認して、新しいFWが見つかったら自動でFWをオンラインでアップデートします。 約8分でアップデートは終了します。 ※ネットワーク回線の通信状況により時間が長くなる場合があります。 ●無効（初期値）
アップデート方式	[FW 自動アップデート]を[無効]に設定している場合のアップデート方式を選択します。 ●オンラインアップデート ●手動アップデート（初期値）
現在のソフトウェアバージョン	現在のファームウェアのバージョンを表示します。
ファイル名	ファームウェアのファイルを選択します。 アップデート方式で[手動アップデート]を選択した場合に表示されます。

■ オンラインでアップデートする

[FW 自動アップデート]を[無効]に設定している場合、必要なときにアップデート情報を確認して、新しいFWが見つければオンラインでアップデートできます。

1 アップデート方式を[オンラインアップデート]に設定する

2 [アップデートを確認する]をクリックする

新しいFWが見つかったら[新しいソフトバージョン]に新しいFWのバージョンが表示されます。

3 [アップデート]をクリックします。

4 [OK]をクリックします。

約8分でアップデートは終了します。

※ネットワーク回線の通信状況により時間が長くなる場合があります。

■ 手動でアップデートする

[FW 自動アップデート]を[無効]に設定している場合、製造元のホームページからダウンロードしたFWを手動でアップデートすることができます。

- 1 アップデート方式を[手動アップデート]に設定する
- 2 製造元のホームページから最新の FW をダウンロードする
- 3 [ファイル]をクリックし、ダウンロードした最新の FW を選択する
- 4 [アップデート]をクリックする
約 5 分でアップデートは終了します。



注意

- FW アップデート中は電源を切らないでください。
- FW アップデートは電波状態の良いところで行ってください。電波状態が悪い場合にはアップデートを中断することがあります。
- FW アップデート後は、再ログイン前にご使用になる Web ブラウザのキャッシュをクリアしてください。キャッシュをクリアしないと設定ツールが正しく表示されない場合があります。

再起動／リセット

■ 再起動する

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[再起動／リセット]を順にクリックする
- 2 [再起動]をクリックする
- 3 [OK]をクリックする
本端末が再起動します。

■ リセットする

設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 設定ツール画面で[システム]→[ソフトウェアとリセット]→[再起動／リセット]を順にクリックする
- 2 [リセット]をクリックする
- 3 [OK]をクリックする
本端末が再起動し、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

動作温度

ケースの表面温度を設定した温度閾値に制限する機能です。

Class A(75°C)は据置用途、Class B(60°C)はモバイル用途での使用を推奨します。

1 設定ツール画面で[システム]→[動作温度]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

動作温度閾値	動作温度閾値を選択します。 ●Class B(60°C) ケースの表面温度が約 60°Cに達したときに通信を停止します。 ●Class A(75°C) (初期値) ケースの表面温度が約 75°Cに達したときに通信を停止します。
--------	---

※通信停止中は温度上昇警告ランプが赤色に点灯します。

通信停止後、温度が下がり温度上昇警告ランプが消灯したら使用を再開できます。

3 [OK]をクリックする

本端末が再起動します。



注意

- 使用中、本端末の表面温度が上昇すると、温度上昇警告ランプが橙点滅または赤点灯することがあります。そのような場合、継続して触れることがないようにご注意ください。やけどの原因となります。

デバイス情報

本端末の情報や状態を確認できます。

1 設定ツール画面で[システム]→[デバイス情報]を順にクリックする

イーサネットインターフェース

有線 LAN を有効にするか設定します。

1 設定ツール画面で[システム]→[イーサネットインターフェース]を順にクリックする

ステータス	有線 LAN の有効/無効を選択します。 ●有効 ●無効（初期値）
-------	---

お知らせ

- 電源ランプが橙点灯(4.5W)で認識されている場合や、USB バスパワー設定を手動で 4.5W に設定している場合は[有効]に設定できません。
- 電源ランプが橙点灯(7.5W)で認識されている場合や、USB バスパワー設定を手動で 7.5W に設定している場合は、Wi-Fi を[無効]に設定しているときに[有効]に設定することができます。

システムログ

本端末の動作ログの取得ができます。

1 設定ツール画面で[システム]→[システムログ]を順にクリックする

2 以下の項目を設定する

ログ項目	ログを取得する項目にチェックします。
ログレベル	ログレベルを選択します。 ログレベルは低い順に debug、info、warning、error です。 ●none（初期値） ●error ●warning ●info ●debug

3 [設定]をクリックする

4 ログを保存する場合は、[エクスポート]をクリックする パソコンのわかりやすい場所を選択して保存してください。

3

USB モデムモードで 接続する

USB モデムモードについて	71
USB モデムモードを設定する	71
UNX-05G PC Utility をインストールする	72
UNX-05G PC Utility をアンインストールする	76
各種機能を設定する (UNX-05G PC Utility)	77
UNX-05G PC Utility の画面	77
セキュリティ	80
ME-PIN 設定	80
SIM-PIN 設定	82
システム	85
バージョン	85
ネットワーク設定	85
バスパワー設定	86
動作温度閾値	86
動作モード	87
自動インストール	87
FW 自動アップデート	88
バックアップ	88
リストア	89
再起動	89
モバイルブロードバンドを使う (Windows)	92
接続する	92
切断する	97

USB モデムモードについて

USB モデムモードはアドレス変換を行わず、WAN の IP アドレスをブリッジ接続することができます。

Wi-Fi 機能が搭載されていないパソコンからでも本端末の USB Type-C ポート(電源ポート)に接続してデータの送受信ができます。



注意

- USB モデムモードでは、Web ブラウザの設定ツールをお使いになれません。
また、Wi-Fi やイーサネットによる通信はできません。

USB モデムモードを設定する

- 1 設定ツール画面で[システム]→[USB モード]を順にクリックする
- 2 [USB 設定(Router/USB モデム)]から[USB モデム]を選択する
- 3 [OK]をクリックして本端末を再起動する
再起動後に「UNX-05G PC Utility をインストールする」(P.72)の手順で UNX-05G PC Utility とドライバをインストールします。

UNIX-05G PC Utility をインストールする

[USB モード]を USB モデムに設定し、本端末が再起動すると UNIX-05G PC Utility とドライバをインストールすることができます。

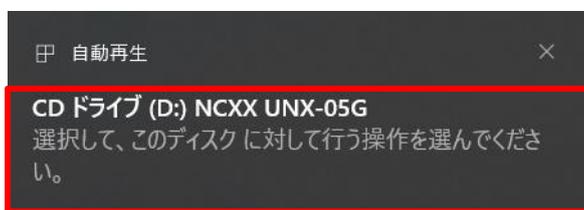
Windows 10 搭載のパソコンにインストールする場合を例にして説明しています。



注意

- UNIX-05G PC Utility とドライバのインストール中に本端末を取り外さないでください。
- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator)」のユーザー名でログインする必要があります。コンピュータのログイン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。管理者の権限については、「管理者権限」(P.107)をご覧ください。

1 再起動後に表示される CD ドライブの自動再生タブをクリックする

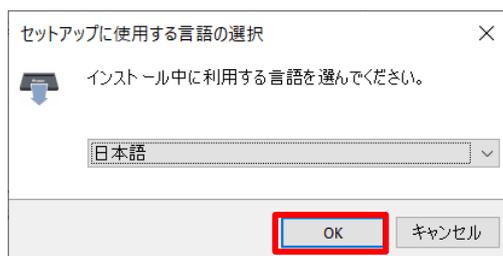


2 [UNIX-05G_PC_Utility_setup_Vx.xx.xx.exe]をクリックする

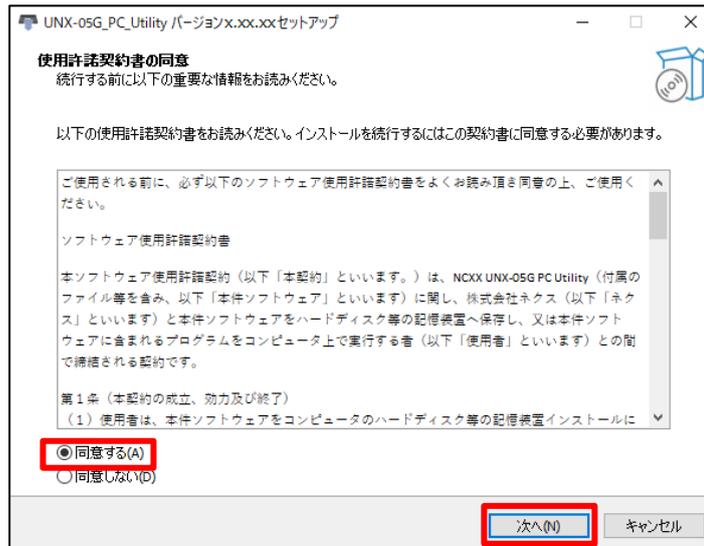


3 [ユーザーアカウント制御]の画面が表示される場合は[はい]をクリックする

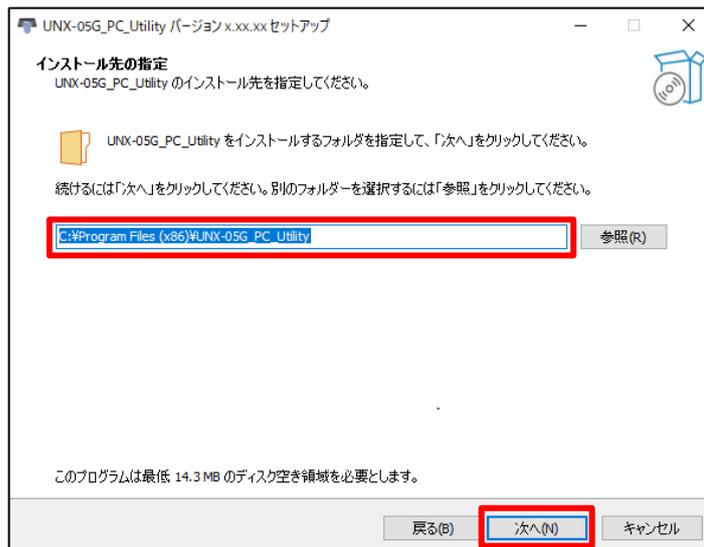
4 セットアップに使用する言語を選択し[OK]をクリックする



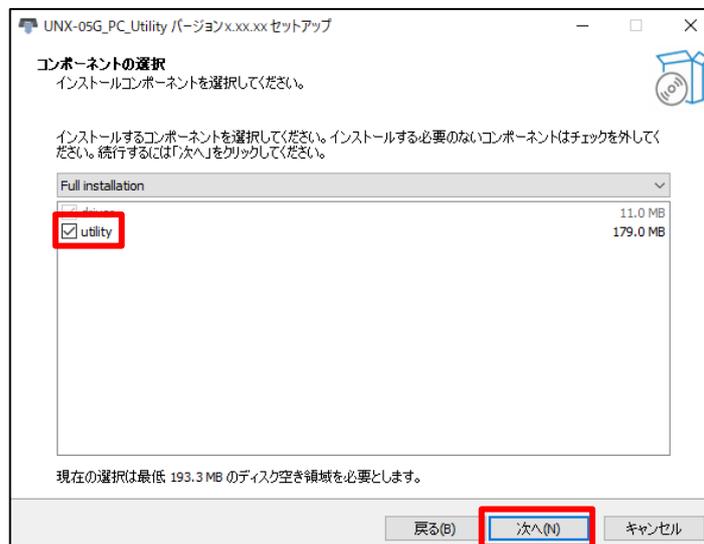
5 使用許諾契約の内容をお読みの上、[同意する]を選択し[次へ]をクリックする



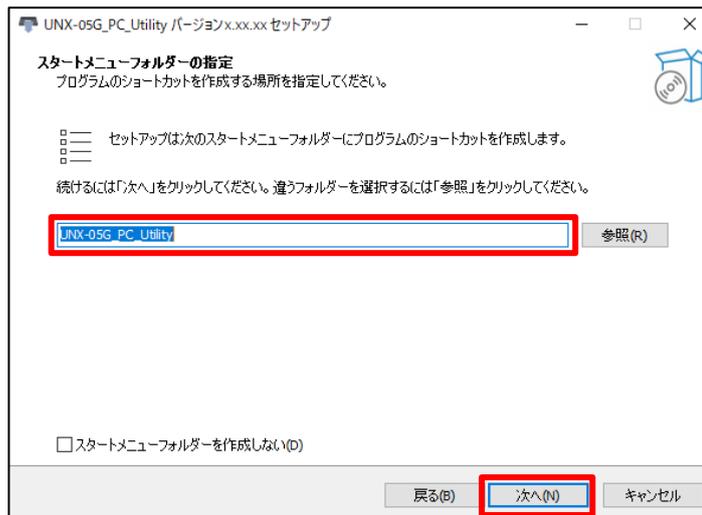
6 インストール先を指定して[次へ]をクリックする



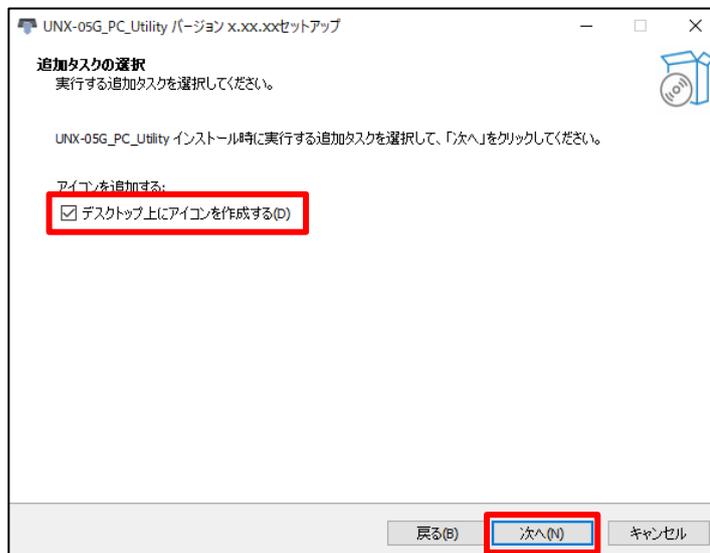
7 [Utility]にチェックが入っていることを確認して[次へ]をクリックする



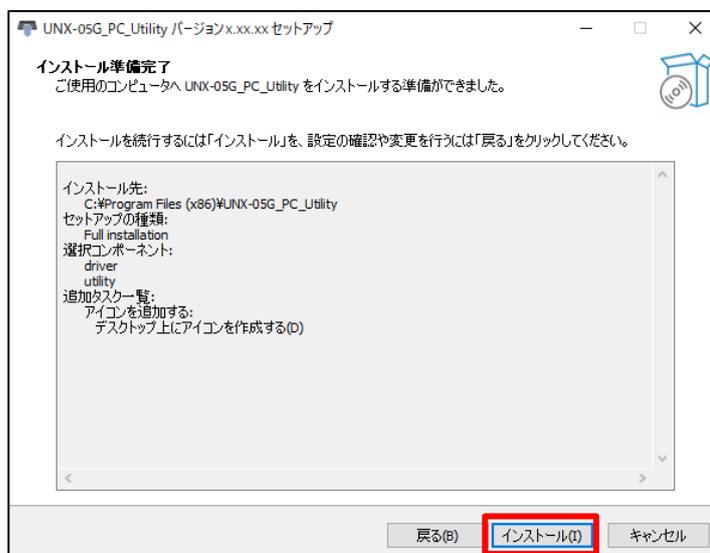
8 スタートメニューフォルダーを指定して[次へ]をクリックする



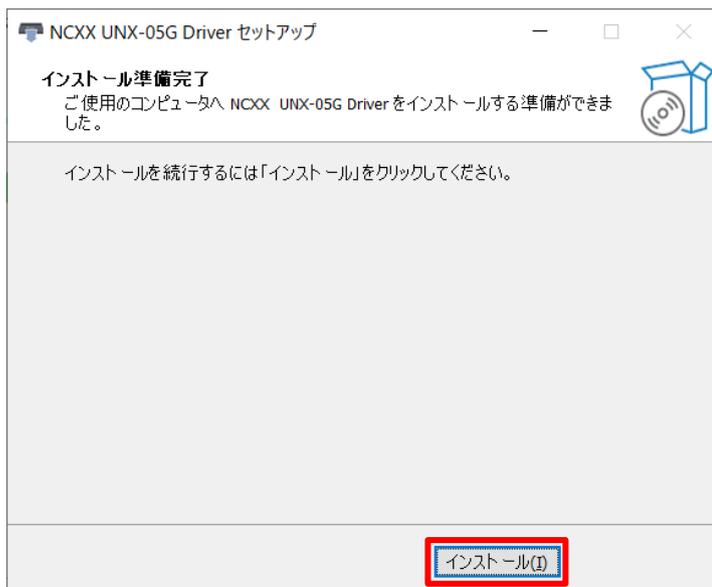
9 [デスクトップ上にアイコンを作成する]のチェックを選択して[次へ]をクリックする



10 インストールの内容を確認して[インストール]をクリックする



11 UNX-05G PC Utility のインストールが終了したら、[インストール]をクリックしてドライバをインストールする



12 [NCXX UNX-05G Driver セットアップウィザードの完了]、[UNX-05G_PC_Utility セットアップウィザードの完了]が表示されたら、それぞれ[完了]をクリックする UNX-05G PC Utility が起動し画面が表示されます。 →「UNX-05G PC Utility の画面」(P.77) 本端末は USB モデムモードで起動します。

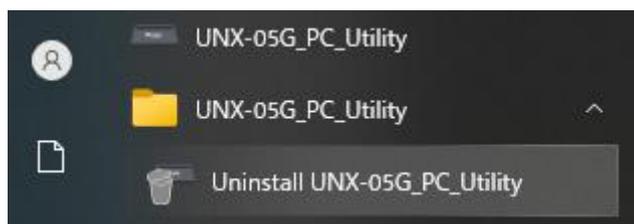


UNIX-05G PC Utility をアンインストールする

インストールした UNIX-05G PC Utility を使用しなくなった場合はパソコンから UNIX-05G PC Utility をアンインストールします。

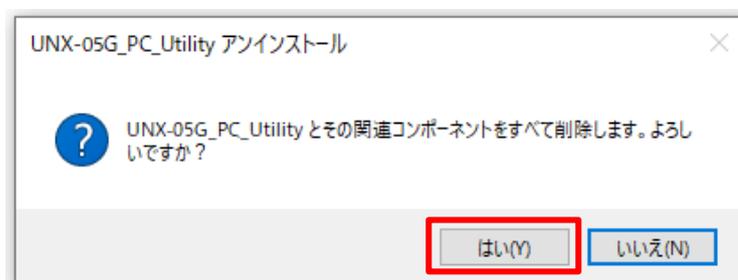
Windows 10 搭載のパソコンにインストールする場合を例にして説明しています。

- 1 [スタート] (Windows アイコン) をクリックし、表示されたメニューをスクロールさせ、[UNIX-05G_PC_Utility] → [Uninstall UNIX-05G_PC_Utility] を順にクリックする



- 2 [ユーザーアカウント制御] の画面が表示される場合は [はい] をクリックする

- 3 [はい] をクリックして、アンインストールする



- 4 UNIX-05G PC Utility がアンインストールされたら、[OK] をクリックする

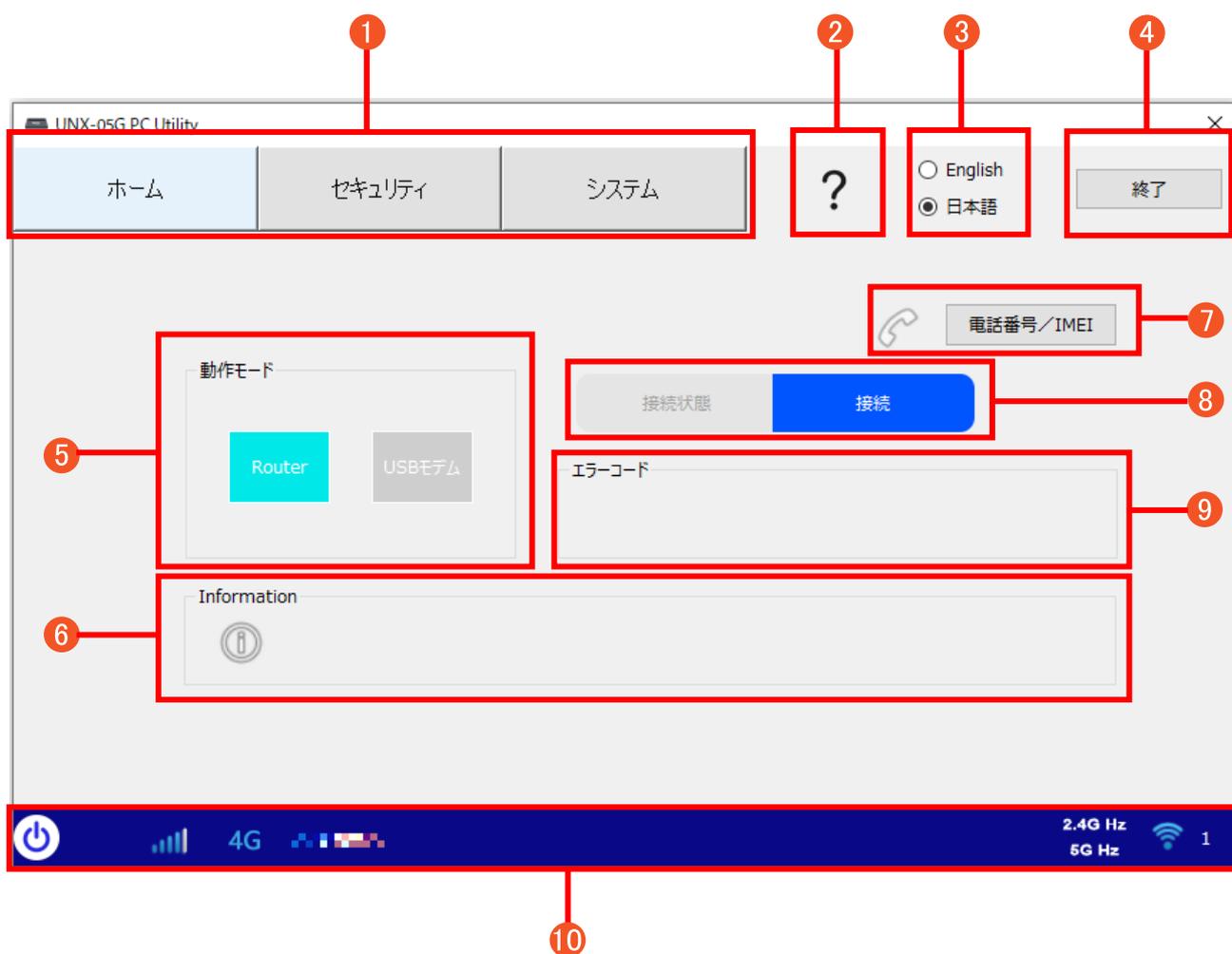


各種機能を設定する(UNIX-05G PC Utility)

本端末と USB 接続した Windows のパソコンから、UNIX-05G PC Utility を利用して本端末の各種機能を設定することができます。

UNIX-05G PC Utility の画面

UNIX-05G PC Utility の画面について説明します。



① 設定メニュー

② ヘルプ

取扱説明書(本書)を PDF ファイルで表示します。

③ 言語設定

設定ツールの言語を設定します。

④ Utility 終了

UNIX-05G PC Utility を終了します。

5 動作モード

現在の動作モードを表示します。現在の動作モードは水色で表示されます。

6 Information

動作状態などを表示します。

7 電話番号/IMEI

クリックすると電話番号とIMEIが表示されます。

8 接続状態

「接続中」または「切断」を表示します。

9 エラーコード

エラーコード(ルーターモード時)、またはエラーメッセージ(USB モデムモード時)を表示します。 →「エラーコード」(P.108)

10 状態表示

5G/4G 電波状態

表示						
状態	圏外	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5

通信方式

表示		
状態	5G 通信	4G 通信

通信事業者

通信事業者名が表示されます。

国際ローミング

表示	
状態	国際ローミング時

Wi-Fi 状態

表示		
状態	2.4GHz 通信	2.4GHz、5GHz 通信

アイコンの右側に Wi-Fi 接続している機器の台数が表示されます。

電力モード

表示				
状態	15W モード	7.5W モード	4.5W モード	電力供給 能力不足

温度上昇警告

表示		
状態	高温による 通信制限中	高温による 通信停止中

SIM カード

表示	
状態	SIM カード 未挿入

セキュリティ

ME-PIN 設定

ME-PIN とはセキュリティを向上させるため、本端末の起動時に 5G/4G の通信を停止(ロック)することができる機能です。



- 設定した ME-PIN は、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。

■ ME-PIN の設定を有効にする

[ME-PIN 無効]の場合、ME-PIN を有効にすることができます。

- 1 Utility 画面で[セキュリティ]をクリックする
- 2 [ME-PIN 有効]を選択する
- 3 [ME-PIN 自動入力]にチェックするかを選択する
[ME-PIN 自動入力]にチェックを付けた場合、起動時に ME-PIN が自動で入力され、ロックが解除されます。
- 4 ME-PIN コードを入力する
6 文字の半角英数字が使用可能です。
- 5 [OK]をクリックする

■ ME-PIN の設定を無効にする

[ME-PIN 有効]の場合、ME-PIN を無効にすることができます。

- 1 Utility 画面で[セキュリティ]をクリックする
- 2 [ME-PIN 無効]を選択する
- 3 ME-PIN コードを入力する
6 文字の半角英数字が使用可能です。

4 [OK]をクリックする

■ ME-PIN を解除する

[ME-PIN 有効]の場合、本端末の電源を入れるたびに ME-PIN コードを入力します。[ME-PIN 自動入力]にチェックを付けた場合は ME-PIN コードの入力は不要です。
ME-PIN コードを解除するまでインターネットに接続できません。

1 起動後に表示される[ME-PIN コード]に現在の ME-PIN コードを入力する
6 文字の半角英数字が使用可能です。

2 [OK]をクリックする

お知らせ

- ME-PIN コードを万が一お忘れになられた場合は、リセットボタンを 5 秒以上押し続けて、お買い上げ時の状態に戻してください。

SIM-PIN 設定

SIM カードには、「PIN コード」という暗証番号があります。この暗証番号により、ユーザー固有データと第 3 者不正使用に対する強力なセキュリティ機能を実現しています。

お買い上げ時、PIN コードは無効になっています。有効にすることで、紛失、または盗難にあった際、不正に使用されることがありません。



- PIN コードの初期値は通信事業者により異なります。
- PIN コードには「生年月日」、「電話番号の一部」など他人にわかりやすい番号は避けてください。また、設定した PIN コードは、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。
- PIN コードや PIN ロック解除コード (PUK) は、他人に知られないように十分に注意してください。
- PIN コードの入力を 3 回連続で間違えた場合、PIN ロック解除コードが必要になります。ご契約の通信事業者にご確認ください。
- PIN ロック解除コードの入力を 10 回連続で間違えると、PUK ロック状態となります。その場合は、ご契約の通信事業者の窓口へお問い合わせ下さい。

■ PIN コードの設定を有効にする

[SIM-PIN 無効] の場合、PIN コードの設定を有効にすることができます。

- 1 Utility 画面で[セキュリティ]をクリックする
- 2 [SIM-PIN 有効]を選択する
- 3 [SIM-PIN 自動入力]にチェックするかを選択する
[SIM-PIN 自動入力]にチェックを付けた場合、起動時に PIN コードが自動で入力され、ロックが解除されます。
- 4 PIN コードを入力する
4~8 桁の半角数字が使用可能です。
- 5 [OK]をクリックする

■ PIN コードの設定を無効にする

[SIM-PIN 有効] の場合、PIN コードの設定を無効にすることができます。

- 1 Utility 画面で[セキュリティ]をクリックする

- 2 [SIM-PIN 無効]を選択する
- 3 PIN コードを入力する
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 4 [OK]をクリックする

■ PIN コードを変更する

[SIM-PIN 有効]の場合、PIN コードを変更することができます。

- 1 Utility 画面で[セキュリティ]をクリックする
- 2 [変更]をクリックする
- 3 現在の PIN コード、新しい PIN コード、新しい PIN コード(確認用)を入力する
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 4 [OK]をクリックする

■ PIN コードを解除する

[SIM-PIN 有効]の場合、本端末の電源を入れるたびに PIN コードを入力します。[SIM-PIN 自動入力]にチェックを付けた場合は PIN コードの入力は不要です。

PIN コードを解除するまでインターネットに接続できません。

- 1 起動後に表示される[SIM-PIN/PUK コード]に現在の PIN コードを入力する
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 2 [OK]をクリックする

■ PIN ロックを解除する

PIN コードの入力を 3 回連続で間違えると、設定した PIN コードが無効になり、すべての機能

がロックされ、PIN ロック状態となります。その場合、PIN ロックの解除コード(PUK)の入力により、PIN コードを再発行する事ができます。

PIN ロックの解除コード(PUK)については、ご契約の通信事業者にご確認ください。

- 1 起動後に表示される[SIM-PIN/PUK コード]にご利用中の SIM カードの PIN ロックの解除コード(PUK)を入力する**
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 2 新しい PIN コードを入力する**
4～8 桁の半角数字が使用可能です。
- 3 [OK]をクリックする**

システム

バージョン

1 Utility 画面で[システム]をクリックする

FW バージョン	現在の FW のバージョンが表示されます。
Utility バージョン	現在の UNX-05G PC Utility のバージョンが表示されます。

ネットワーク設定

使用するネットワークモードを設定します。

1 Utility 画面で[システム]をクリックする

2 以下の項目を設定する

ネットワーク設定	使用するネットワークモードを選択します。 <ul style="list-style-type: none">●5G（初期値） 5G NSA/4G の通信方式が利用できます。●5G SA Only 5G SA の通信方式が利用できます。●4G Only 4G の通信方式が利用できます。●自動(5G SA>5G) 5G SA/5G NSA/4G の通信方式が利用できます。 5G SA 方式に優先的に接続します。
----------	--

3 [OK]をクリックする



注意

- ネットワークモードを「5G」または「自動(5G SA>5G)」に設定している場合、7.5Wモードや4.5Wモードで動作中は5G NSAの通信方式が利用できません。
電力モードによる動作制限については「各電力モードによる動作制限」(P.31)をご覧ください。
- 「自動(5G SA>5G)」に設定していても、電波状況により5G SA方式が優先されない場合があります。

バスパワー設定

USB バスパワーを設定します。パソコンや AC アダプタなどの USB ポートからの電源供給能力を自動で検出、または 4.5W/7.5W 固定に設定することができます。

1 Utility 画面で[システム]をクリックする

2 以下の項目を設定する

USB バスパワー設定	USB バスパワーを選択します。 ●自動 ●4.5W ●7.5W
-------------	---

3 [OK]をクリックする

動作温度閾値

ケースの表面温度を設定した温度閾値に制限する機能です。

Class A(75°C)は据置用途、Class B(60°C)はモバイル用途での使用を推奨します。

1 Utility 画面で[システム]をクリックする

2 以下の項目を設定する

動作温度閾値	動作温度閾値を設定します。 ●Class B(60°C) ケースの表面温度が約 60°Cに達したときに通信を停止します。 ●Class A(75°C) (初期値) ケースの表面温度が約 75°Cに達したときに通信を停止します。
--------	---

※通信停止中は温度上昇警告ランプが赤色に点灯します。

通信停止後、温度が下がり温度上昇警告ランプが消灯したら使用を再開できます。



注意

- 使用中、本端末の表面温度が上昇すると、温度上昇警告ランプが橙点滅または赤点灯することがあります。そのような場合、継続して触れることがないようにご注意ください。やけどの原因となります。

- 3 [OK]をクリックする
本端末が再起動します。

- 4 [OK]をクリックする

動作モード

ルーターモードと USB モデムモードを切り替えます。

- 1 Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 以下の項目を設定する

動作モード	動作モードを選択します。 ●USB モデム ●Router
-------	-------------------------------------

- 3 [OK]をクリックする
本端末が再起動します。

自動インストール

本端末を USB モデムモードで起動時に UNX-05G PC Utility とドライバのインストールを自動で行うかを設定できる機能です。

自動インストールが有効に設定されている場合、本端末起動時はインストール CD-ROM ドライブとして認識されます。USB モデムモードを使用するには UNX-05G PC Utility を起動する必要があります。

ルーターモードでは自動インストールの設定を行うことはできません。

- 1 Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 以下の項目を設定する

自動インストール	UNX-05G PC Utility とドライバの自動インストールの有効/無効を選択します。 ●無効 ●有効 (初期値)
----------	--

3 [OK]をクリックする

FW 自動アップデート

FW(ファームウェア)は本端末を動作させるソフトウェアのことです。FW を更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。

FW は最新のバージョンで使用してください。

1 Utility 画面で[システム]をクリックする

2 以下の項目を設定する

FW 自動アップデート	FW 自動アップデートの有効/無効を設定します。 <ul style="list-style-type: none">●有効 定期的にアップデート情報を確認して、新しいFWが見つかったら自動でFWをオンラインでアップデートします。 約8分でアップデートは終了します。 ※ネットワーク回線の通信状況により時間が長くなる場合があります。●無効
-------------	--

3 [OK]をクリックする

バックアップ

本端末に設定した内容をパソコンに保存します。

1 Utility 画面で[システム]をクリックする

2 [バックアップ]をクリックする

3 [OK]をクリックする

リストア

本端末に保存した設定内容を読み込みます。

- 1 Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 [リストア]をクリックする
- 3 [OK]をクリックする
- 4 [OK]をクリックする
本端末が再起動します。

再起動

- 1 Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 [再起動]をクリックする
- 3 [OK]をクリックする
本端末が再起動します。



お知らせ

- ご使用になる PC 環境によっては、本端末が再起動してから PC Utility が本端末を再認識するまでに時間がかかる場合があります。

FW 更新 (Local)

製造元のホームページからダウンロードした FW を手動でアップデートすることができます。

- 1 Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 製造元のホームページから最新の FW をダウンロードする

- 3 [FW 更新(Local)]をクリックする
- 4 [OK]をクリックする
- 5 ダウンロードした最新の FW を選択する
- 6 [OK]をクリックする
約 5 分でアップデートは終了します。



- FW アップデート中は電源を切らないでください。

FW 更新 (FOTA)

USB モデムモードでご利用中に、必要な時にアップデート情報を確認して、新しい FW が見つければオンラインでアップデートできます。

ルーターモードでは「FW 更新(FOTA)」をクリックすることはできません。

本機能は設定ツールの「オンラインでアップデートする」(P.66)でご利用になれます。

- 1 Utility 画面で[システム]をクリックする
- 2 [FW 更新(FOTA)]をクリックする
- 3 [OK]をクリックする
約 8 分でアップデートは終了します。
※ネットワーク回線の通信状況により時間が長くなる場合があります。



- FW アップデート中は電源を切らないでください。
- FW アップデートは電波状態の良いところで行ってください。電波状態が悪い場合にはアップデートを中断することがあります。

プロフィール設定

USB モデムモードで[FW 自動アップデート]を[有効]に設定、または[FW 更新(FOTA)]をクリックして FW のアップデートを行う場合に APN(アクセスポイント名)プロフィールを設定します。

モバイルブロードバンドの機能をご利用する際に Windows 搭載のパソコンに設定したプロファイルとは別に設定する必要があります。

お知らせ

- 設定ツールの[プロファイル管理](P.42)でプロファイルを設定されている場合は、その内容が表示されます。

1 Utility 画面で[システム]をクリックする

2 [プロファイル設定]をクリックする

[プロファイル名]、[APN]、[ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[認証方式]、[IP タイプ]を選択します。

プロファイル名	任意のプロファイル名を入力します。 半角英数および記号(,":;&%+'<>?を除く)最大 32 文字が使用可能です。
APN	事業者より提供されている APN を入力します。 半角英数最大 62 文字、.(ドット)、-(ハイフン)が使用可能です。
IP タイプ	接続方式を選択します。 ●IPv4 ●IPv6 ●IPv4/v6
認証方式	事業者より指定される認証方式を選択します。 ●None ●PAP ●CHAP
ユーザー名	事業者より提供されているユーザー名を入力します。 半角英数および記号(,":;&%+'<>?を除く)最大 64 文字が使用可能です。
パスワード	事業者より提供されているパスワードを入力します。 半角英数および記号(,":;&%+'<>?を除く)最大 32 文字が使用可能です。

3 入力内容を確認して、[保存]をクリックする

4 [プロファイル設定に成功しました。]が表示されたら[OK]をクリックする

5 [終了]をクリックする

モバイルブロードバンドを使う(Windows)

Windows パソコンに搭載されているモバイルブロードバンドの機能を利用して通信を行うことができます。

モバイルブロードバンドの機能を使用する場合は USB モデムモードに設定し、ドライバと UNX-05G PC Utility をインストールしてください。

Windows 10 搭載のパソコンでモバイルブロードバンドを使用する場合を例にして説明しています。

接続する

Windows の自動設定により、ご利用になる SIM カードによっては APN 設定を行わなくても接続できる場合があります。その場合は以下の手順を行う必要はありません。

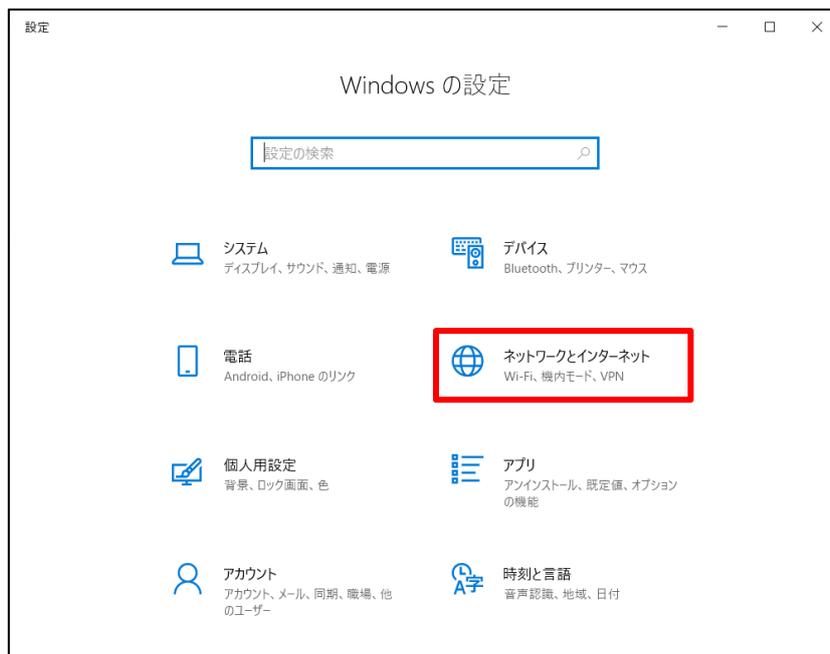
1 パソコンのデスクトップに作成された「UNX-05G_PC_Utility」のアイコンをダブルクリックして UNX-05G PC Utility を起動する

本端末は自動インストールモードから USB モデムモードに切替わります。

お知らせ

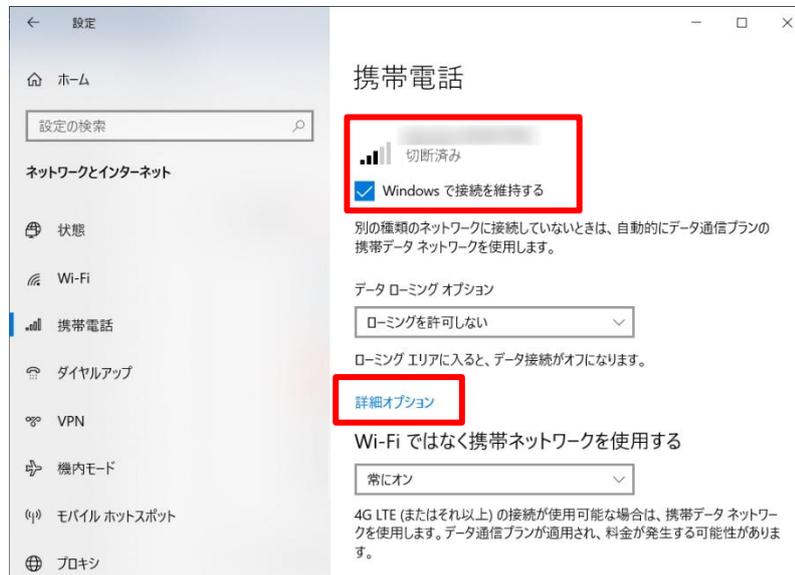
- 自動インストールを無効に設定している場合は、UNX-05G PC Utility を起動しないで USB モデムモードに切り替えることができます。「自動インストール」(P.87)

2 [スタート](Windows アイコン)→[設定](歯車アイコン)→[ネットワークとインターネット]を順にクリックする

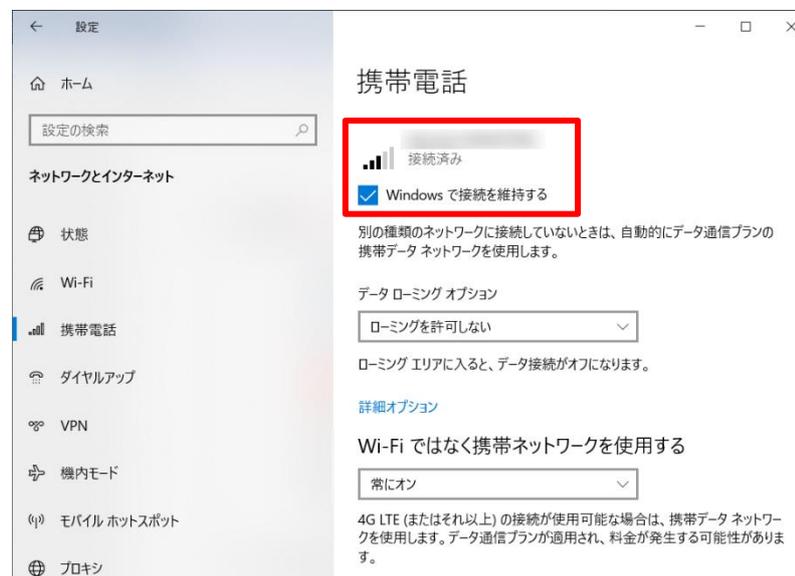


3 [携帯電話]をクリックする

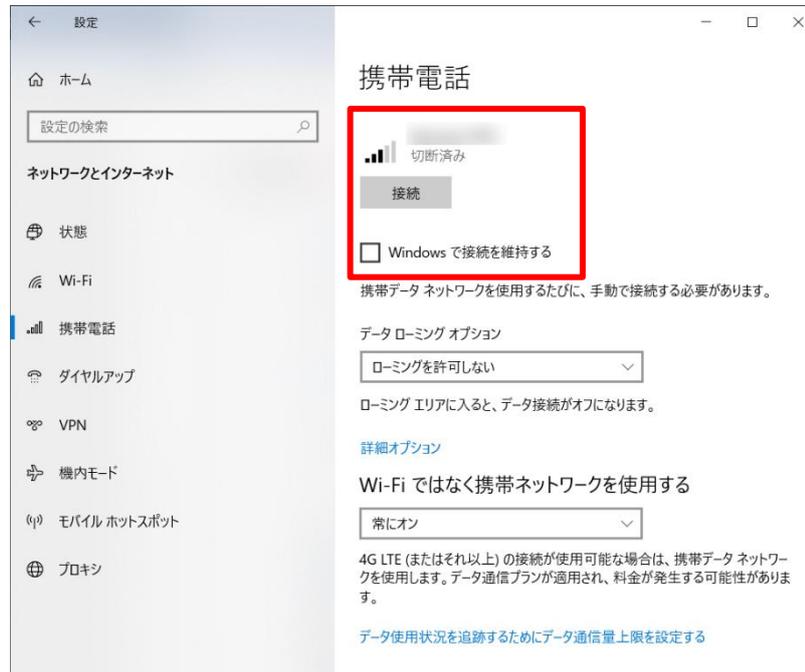
- ① [Windows で接続を維持する]がチェックされていて「切断済み」と表示される場合は、[詳細オプション]をクリックして手順4へ進んでください。



- ② [Windows で接続を維持する]がチェックされていて「接続済み」と表示される場合は、以降の設定手順は不要です。



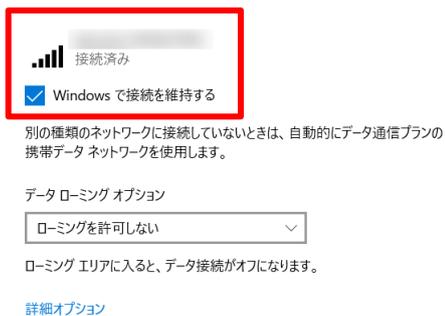
- ③ [Windows で接続を維持する]がチェックされておらず「切断済み」と表示される場合は、[Windows で接続を維持する]をチェックして接続確認を行ってください。



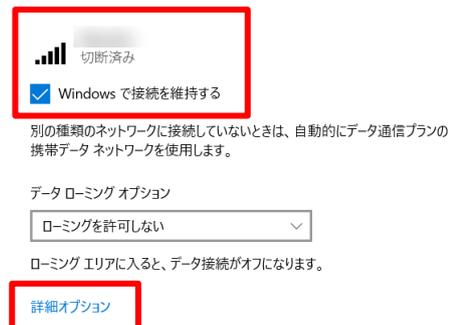
状態が「接続済み」となった場合は以降の設定手順は不要です。

状態が「切断済み」のままである場合は [詳細オプション] をチェックして手順 4 へ進んでください。

携帯電話



携帯電話



4 [APNを追加します]をクリックする

携帯電話会社の設定

携帯ネットワーク接続プロファイル

携帯ネットワーク接続プロファイル

従量制課金接続

制限付きのデータ通信プランを使っていて、データの使用量をより細かく制御したい場合は、この接続を従量制課金接続に設定してください。アプリによっては、このネットワークへの接続時に動作が変わり、データ使用量を減らすことができる場合があります。

従量制課金接続として設定する

オン

データ通信量の上限を設定すると、上限を超えないように従量制課金接続が設定されます。

[このネットワーク上のデータ使用量を制御するためのデータ通信量上限を設定する](#)

APN 設定

既定のインターネット APN を選択します

自動

見つけた中から最適なインターネット APN が自動的に使用されます。ユーザーまたはユーザーの組織で作成した APN は使用されません。

+ APN を追加します

インターネット APN

(○) 既定の APN
適用済み

5 通信事業者から提供された情報を入力して、APN の種類で「インターネットおよびアタッチ」を選択し、[このプロファイルを適用する]がチェックされていることを確認のうえ[保存]をクリックする

← 設定

APN

プロファイル名

UNX-05G

APN

ユーザー名

ユーザー名

パスワード

パスワード

サインイン情報の種類

なし

IP の種類

既定

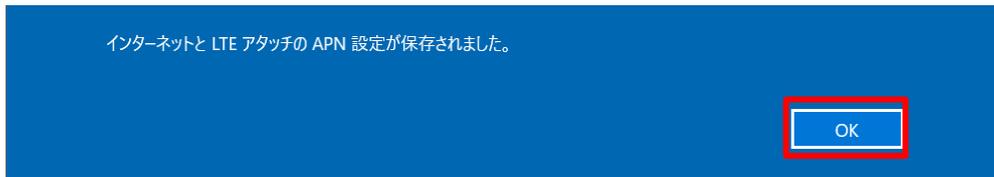
APN の種類

インターネットおよびアタッチ

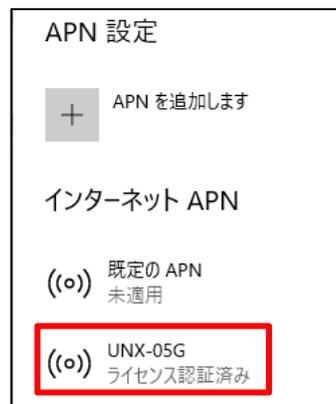
このプロファイルを適用する

保存

- 6 [インターネットとLTE アタッチの APN 設定が保存されました。]と表示されたら、[OK]をクリックする



- 7 手順 3 の画面で[インターネット APN]設定が保存され、[アクティブ化済み]、または[ライセンス認証済み]と表示されることを確認する



お知らせ

- [適用済み]と表示された場合、ネットワークに接続されていません。
手順 2 の画面で[接続]または[Windows で接続を維持する]のチェックボックスをクリックしてネットワークに接続してください。



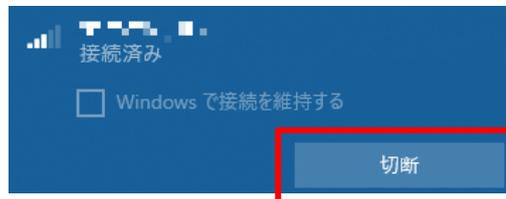
切断する

Windows の自動設定により、設定しなくても接続できる場合があります。その場合は以下の手順を行う必要はありません。

- 1 タスクトレイの  をクリックする
- 2 本端末の接続表示をクリックする



- 3 [切断]をクリックする



お知らせ

- [Windows で接続を維持する]のチェックボックスにチェックを入れて接続していた場合は、チェックボックスをクリックすることで切断されます。



4

Wi-Fi で接続する

Wi-Fi で接続する	99
Windows パソコンを接続する	99
Mac を接続する	101
Android 搭載端末を接続する	102
iPhone/iPod touch/iPad を接続する	103

Wi-Fi で接続する

本端末は、Wi-Fi 機能により同時に複数のパソコンなどの Wi-Fi 対応機器と接続し、データの送受信ができます。

本端末はお買い上げ時、2.4GHz の Wi-Fi が有効に設定されています。5GHz の Wi-Fi を使用する場合は「Wi-Fi 基本設定」(P.54)を参照してください。

本端末は WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能には対応していません。

本端末の SSID、暗号化キーは本端末の底面のラベル(右下)から確認することができます。



ネットワーク名(SSID)
SSID(2.4G) : UNX05G1XXXXXX
SSID(5G) : UNX05G2XXXXXX
暗号化キー(AES): XXXXXXXX

お願い

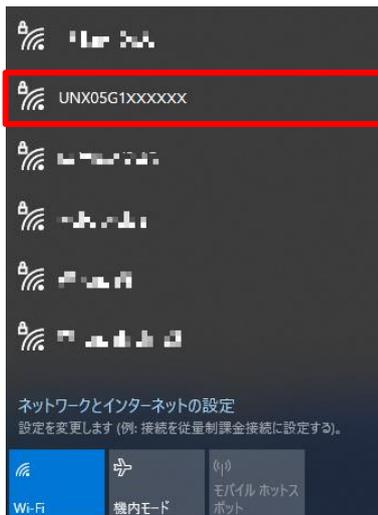
- セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているネットワーク名(SSID)および暗号化キーを変更してください。
変更のしかたは「Wi-Fi 基本設定」(P.54)を参照してください。

Windows パソコンを接続する

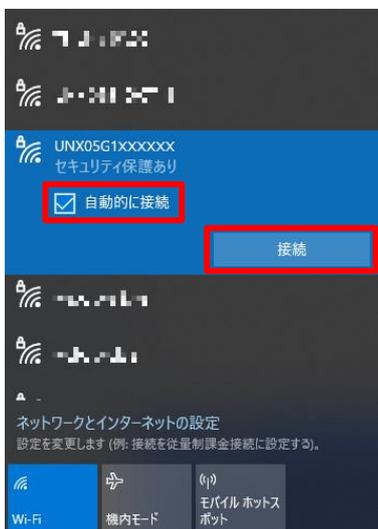
Windows 10 の場合を例に接続する方法を説明します。

- 1 パソコンの無線 LAN(Wi-Fi)機能を有効にする
パソコンの無線 LAN(Wi-Fi)機能を有効にする方法は機種ごとに異なりますので、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 Windows タスクバーの通知領域に表示されているネットワークアイコンをクリックする

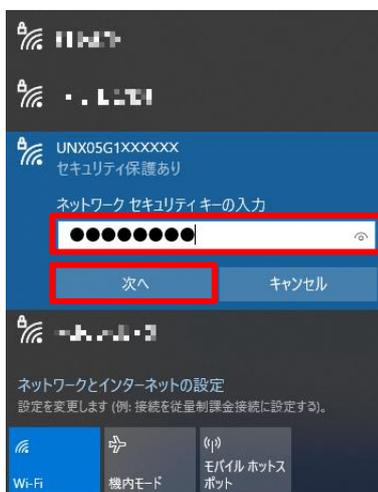
3 ネットワークの一覧から、本端末のネットワーク名 (SSID) を選択する



4 [自動的に接続] にチェックを入れて、[接続] をクリックする



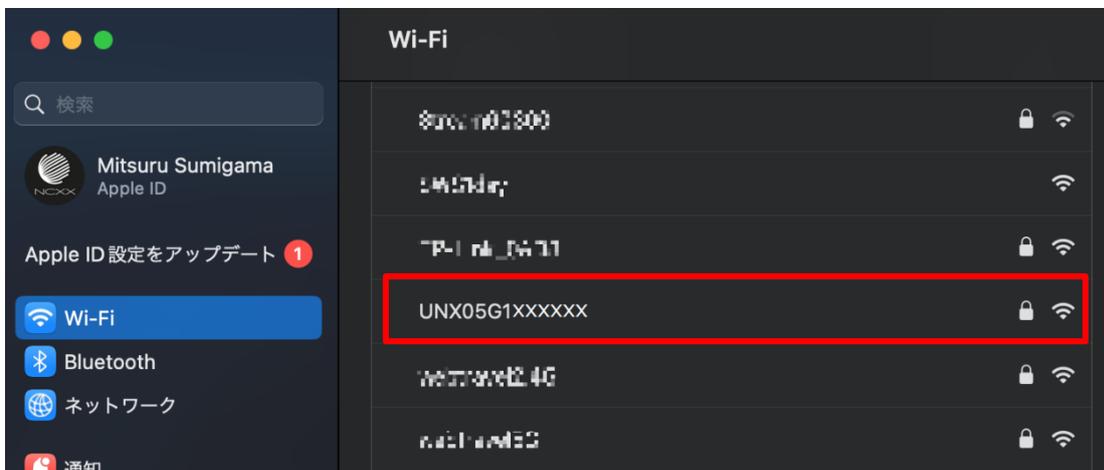
5 [パスワード] に本端末のパスワード (暗号化キー) を入力し、[次へ] をクリックする



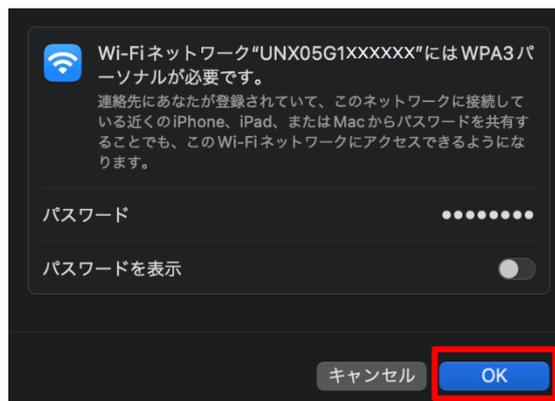
Mac を接続する

macOS 13 の場合を例に接続する方法を説明します。

- 1 パソコンの無線 LAN (Wi-Fi) 機能を有効にする
パソコンの無線 LAN (Wi-Fi) 機能を有効にする方法は機種ごとに異なりますので、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 アップルメニューの[システム設定...]→[Wi-Fi]を順にクリックする
- 3 [ネットワーク名]のプルダウンメニューで本端末のネットワーク名 (SSID) を選択する



- 4 [パスワード]に本端末のパスワード(暗号化キー)を入力し、[OK]をクリックする



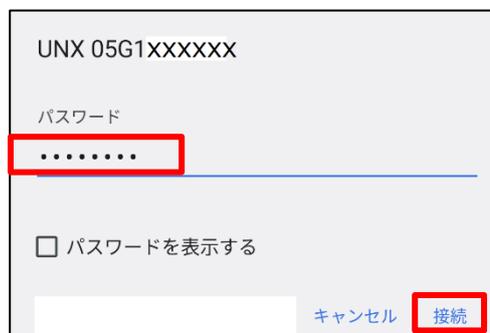
Android 搭載端末を接続する

お使いの Android 搭載端末、Android のバージョンによって操作および画面が異なります。
詳しくは、お使いの Android 搭載端末の取扱説明書などを参照してください
Android 12 の場合を例に接続する方法を説明します。

- 1 アプリケーション一覧画面で[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]を順にタップする
- 2 [Wi-Fi の使用]を ON にする
- 3 一覧画面から本端末の SSID をタップする



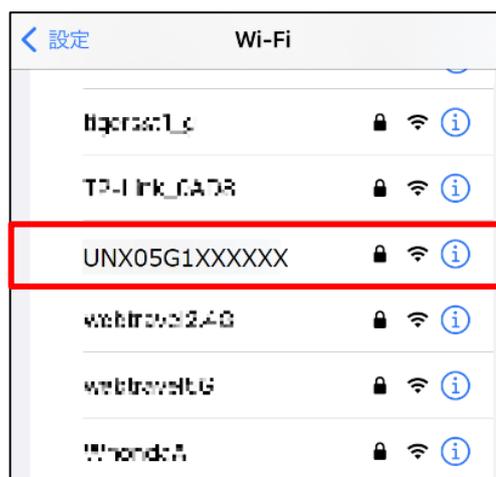
- 4 本端末のパスワード(暗号化キー)を入力し、[接続]をタップする



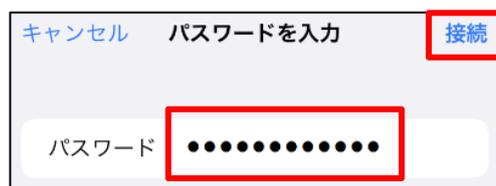
iPhone/iPod touch/iPad を接続する

iPhone (iOS 16.0.2) の場合を例に接続する方法を説明します。

- 1 ホーム画面で[設定]→[Wi-Fi]をタップする
- 2 [Wi-Fi]を ON にする
- 3 一覧画面から本端末の SSID をタップする



- 4 本端末のパスワード(暗号化キー)を入力し、[接続]または[Join]をタップする



5

付録

故障かな?と思ったら	105
エラーコード.....	108
メニュー一覧(Web ブラウザ)	111
メニュー一覧(UNIX-05G PC Utility)	118
仕様	120
本端末の比吸収率(SAR)などについて	122
本端末の比吸収率(SAR)について	122
FCC Regulations.....	123
Radio Wave Exposure Information	123
European RF Exposure Information.....	124
Regulatory conformance.....	124
輸出管理規制	125
知的財産権について.....	125
その他.....	126
携帯電話/PHS のリサイクルについて.....	126
お問合せ先	127

故障かな？と思ったら

本端末が正常に動作しない場合は、まず以下の項目をご確認ください。

症状	確認内容
本端末の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●本端末に USB Type-C ケーブル(試供品)が正しく差し込まれていることを確認してください。 ●パソコンに USB Type-C ケーブル(試供品)が正しく差し込まれていることを確認してください。 ●省エネタイプのパソコンでは本端末への電源を OFF にしているものがあります。本端末の表示ランプが消灯している場合は本端末への電源が供給されていない可能性がありますので、パソコンの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。
操作中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> ●操作中、本端末や USB Type-C ケーブル(試供品)が熱くなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
パソコンの USB の給電能力と違う電力モードで動作してしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコンの電源を起動、またはスリープや休止状態から起動した直後に本端末と USB Type-C ケーブル(試供品)で接続する場合、パソコンの USB の給電能力が抑えられている場合がありますので、USB Type-C ケーブル(試供品)を一度取り外してから再度差し込み、本端末を再起動してください。 ●パソコンの電池残量を確認してください。電池の残量が少ない場合は、USB の給電能力が抑えられている場合がありますので、パソコンに付属の AC アダプタを使用するか、新しい電池に交換してください。また、USB Type-C ケーブル(試供品)を一度取り外してから再度差し込み、本端末を再起動してください。
通信できない/ 通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ●本端末に SIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。 ●プロファイル情報([ユーザー名]、[パスワード]、[APN])で英数字の入力間違い、前後の余分なスペース(空白)などが入力されていないかを確認してください。 ●5G/4G ランプが赤点灯している場合 SIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。SIM カードの PIN コードが有効、または PIN ロック状態、完全ロック状態になっている可能性があります。PIN コードの設定を確認してください。

症状	確認内容
<p>通信できない/ 通信速度が遅く感じる (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●5G/4G ランプが赤点滅している場合 本端末に接続している USB Type-C ケーブル(試供品)を一度取り外してから、再度差し込み、本端末を再起動してください。それでも改善しない場合は、本端末を電波の入りやすい場所に設置し直してください。 ●電波の性質または時間帯による電波の混み具合により、通信が途切れる等正常にご利用できない場合があります。場所を移動するか、しばらく待ってからご使用ください。 ●本端末の温度が高い状態が続くと、通信を制限する場合があります。通信制限中の表示は以下から確認できます。 →「LED ランプ」(P.28) 「設定ツールの画面」(P.37) 「UNIX-05G PC Utility の画面」(P.77) ●接続するパソコン、AC アダプタ(市販品)、USB ケーブル(市販品)によっては電波を受信しにくくなる場合があります。パソコン、AC アダプタはできるだけ離してご使用ください。USB ケーブルは試供品、もしくはシールド効果の高い市販の USB ケーブルを使用してください。
<p>Wi-Fi 対応機器を接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本端末と Wi-Fi 対応機器の Wi-Fi 機能が ON になっていることを確認してください。また、Wi-Fi 対応機器の Wi-Fi 仕様が本端末と合致しているか、お使いの Wi-Fi 対応機器の取扱説明書でご確認ください。 ●本端末の 5GHz の Wi-Fi はお買い上げ時「無効」に設定されています。 ●5GHz の Wi-Fi をご使用になる場合は Multi SSID の設定を「有効」にしてください。 ●正しいパスワード(暗号化キー)を入力しているか、確認してください。パスワードは本端末の底面に貼り付けてあるラベルに記載されています。 セキュリティ(暗号化方式)を[WPA2-PSK(AES+TKIP)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]、[WPA3-SAE(AES)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定している場合は、お使いの Wi-Fi 対応機器が WPA および WPA2-PSK、WPA3-SAE のセキュリティ(暗号化方式)に対応しているか、お使いの Wi-Fi 対応機器の取扱説明書でご確認ください。

症状	確認内容
設定ツールや UNX-05G PC Utility がうまく動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●途中まで動作する場合、あるいは一部の機能は動作するが全体としてうまく動作しない場合、設定が不適切な可能性があります。設定内容を確認してください。 ●パソコンの電源を一度 OFF にし、再度電源を ON にしてください。パソコンの電池残量を確認してください。電池の残量が少なくなると動作が不安定になることがあります。電池の残量が少ない場合は、パソコンに付属の AC アダプタを使用するか、新しい電池に交換してください。
イーサネット対応機器を接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ●本端末のイーサネットはお買い上げ時「無効」に設定されております。イーサネットをご使用になる場合はイーサネットインターフェースのステータス設定を「有効」にしてください。
管理者権限 (Administrator) でログインしているかわからない	<ul style="list-style-type: none"> ●[スタート] (Windows アイコン) → [設定] (歯車アイコン) → [アカウント] を順にクリックします。
海外で使用できない	<ul style="list-style-type: none"> ●国際ローミングサービスをご利用の場合は通信事業者とのご契約が必要です。ご契約の通信事業者へお問い合わせください。 ●設定ツール画面で [WAN 設定] → [ネットワーク設定] → [自動接続] を順にクリックし、[自動接続] または [手動] に設定してください。

エラーコード

通信エラーや機器の異常などをお知らせするエラーコードやエラーメッセージを設定ツールのステータス画面および PC Utility のホーム画面に表示します。

コード	内容	処置方法
-	SIM カードが無効または読み込めません。 Invalid or missing card	有効な SIM カードが正しく挿入されているかご確認ください。
7	EPS サービスが許可されていません。 EPS services not allowed	通信事業者にお問い合わせください。
8	未提供サービス試行による規制が発生しました。 EPS services and non-EPS services not allowed	通信事業者にお問い合わせください。
11	PLMN が許可されていません。 PLMN not allowed	サービスの契約が無効となっているか、サービスの禁止されている SIM カードでアクセスしようとしたことにより発生した可能性があります。通信事業者にお問い合わせください。
12	サービスをご使用になれないエリアです。 Tracking area not allowed	場所を移動するか、しばらくお待ち頂いてから電源を入れ直してください。
13	このエリアではローミングをご使用になれません。 Roaming not allowed in this tracking area	通信事業者にお問い合わせください。
14	お使いの SIM で、パケット通信サービスが許可されていません。 EPS services not allowed in this PLMN	通信事業者にお問い合わせください。
15	このエリアではご使用になれません。 No suitable cells in tracking area	通信事業者にお問い合わせください。
17	ネットワーク障害により、一時的に利用できません。 Network failure	電源を入れ直してもう一度接続してください。
19	通信ベアラ情報が正しくありません。 ESM failure	APN が正しく設定されているかご確認ください。
22	輻輳 Congestion	PLMN 固有のネットワーク障害および輻輳/認証障害の可能性があります。電源を入れ直してもう一度接続してください。
26	ネットワークリソース不足により接続を拒否されました。 Insufficient resources	しばらく時間を空けて、もう一度接続してください。

コード	内容	処置方法
27	アクセスポイント名が含まれていない、またはアクセスポイント名が解決できないため接続を拒否されました。 Missing or unknown APN	APN が正しく設定されているかご確認ください。
29	ユーザー認証エラーにより、接続を拒否されました。 User authentication or authorization failed	ユーザー名、パスワードが間違っている可能性があります。ご確認ください。
31	要求されたサービスが不特定の理由により拒否されました。 Request rejected, unspecified	通信事業者にお問い合わせください。
32	サポートしないサービス要求をしたために接続を拒否されました。 Service option not supported	通信事業者にお問い合わせください。
33	本製品が加入していないサービスオプション要求をしたため、接続を拒否されました。 Requested service option not subscribed	通信事業者にお問い合わせください。
38	ネットワーク内のエラー発生により切断されました。 Network failure	通信事業者にお問い合わせください。
43	Linked TI IE によって特定された PDU コンテキストの非活性状態が通知されました。 Invalid EPS bearer identity	もう一度接続してください。
46	LADN サービスのエリア外。 Out of LADN service area	通信事業者にお問い合わせください。
50	要求された PDU 接続は PDP タイプ IPv4 のみが許可されています。 PDN type IPv4 only allowed	IPv4 のみの設定に変更し、もう一度接続してください。
51	要求された PDU 接続は PDP タイプ IPv6 のみが許可されています。 PDN type IPv6 only allowed	IPv6 のみの設定に変更し、もう一度接続してください。
54	PDU セッションが存在しない。 PDN connection does not exist	もう一度接続していただくか、電源を入れなおしてください。
70	スライスに DNN がないか不明。 Missing or unknown DNN in a slice	通信事業者にお問い合わせください。
95	意味的に間違ったコンテンツを持つメッセージを受信しました。 Semantically incorrect message	通信事業者にお問い合わせください。
219	APN、ユーザー名、パスワードのいずれかに誤りがある可能性があります。	設定ツール、Windows 携帯電話の設定確認を行ってください。解決しない場合は、お手持ちのユーザー名、パスワードが正しいかを再度ご確認ください。

コード	内容	処置方法
233	モデムはすでに使用中か、正しく構成されていません。	接続の際に、本製品がはずれて正しく接続されていない可能性があります。差し込み口を再度ご確認ください。 また、パソコンの再起動で回復する可能性もあります。
278	リモートコンピューターが応答しませんでした。	設定ツール、Windows 携帯電話の設定で、接続番号に誤りがある可能性があります。設定ツール、Windows 携帯電話の設定を確認し、もう一度接続してください。

メニュー一覧 (Web ブラウザ)

メニュー項目 / 設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ / リストア	表示	
				管理者でのログイン	一般ユーザーでのログイン
言語設定	日本語、English	日本語	○	○	○
ホーム					
ステータス					
インターネット情報					
インターネットモード	—	—	—	○	○
ネットワーク状態	—	—	—	○	○
接続ネットワーク	—	—	—	○	○
接続時間	—	—	—	○	○
IPv4 アドレス	—	—	—	○	○
サブネットマスク	—	—	—	○	○
デフォルトゲートウェイ	—	—	—	○	○
IPv4 優先 DNS サーバー	—	—	—	○	○
IPv4 代替 DNS サーバー	—	—	—	○	○
IPv6 アドレス	—	—	—	○	○
IPv6 優先 DNS サーバー	—	—	—	○	○
IPv6 代替 DNS サーバー	—	—	—	○	○
統計情報					
送信データ量	—	—	—	○	○
受信データ量	—	—	—	○	○
総データ量	—	—	—	○	○
クライアント					
接続リスト	—	—	—	○	○
WAN 設定					
ネットワーク設定					
ネットワーク設定					
ネットワークモード	5G、5G SA Only、4G Only、自動 (5G SA > 5G)	5G	○	○	○
ネットワーク検索	自動、手動	自動	○	○	○
自動接続					
自動接続	自動接続 (ローミング除く)、手動、自動接続	自動接続 (ローミング除く)	○	○	○

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ /リストア	表示	
				管理者 でのログイン	一般ユーザー でのログイン
プロファイル管理					
新規/編集/削除	16 個まで登録可能です。	—	—	○	○
プロファイル名	半角英数および記号最大 32 文字 (",:;\&%+'<>?を除く)	—	○	○	○
認証方式	None、PAP、CHAP	None	○	○	○
APN	半角英数最大 62 文字、 .(ドット)、-(ハイフン)	—	○	○	○
ユーザー名	半角英数および記号最大 64 文字 (",:;\&%+'<>?を除く)	—	○	○	○
パスワード	半角英数および記号最大 32 文字 (",:;\&%+'<>?を除く)	—	○	○	○
IP タイプ	IPv4、IPv6、IPv4/v6	IPv4/v6	○	○	○
PIN コード管理					
PIN コード要求	有効、無効、変更	無効	○	○	×
PIN コード	4~8 桁の半角数字	—	○	○	×
PIN 自動入力	有効、無効	無効	○	○	×
残り試行回数	—	—	—	○	×
LAN 設定					
DHCP					
DHCP サーバー	有効、無効	有効	○	○	○
IP アドレス	192.168.0.1 ~ 192.168.0.254	192.168.0.1	○	○	○
サブネットマスク	255.255.255.0 ~ 255.255.255.255	255.255.255.0	○	○	○
DHCP IP アドレス範囲	192.168.0.1 ~ 192.168.0.254	192.168.0.2 ~ 192.168.0.254	○	○	○
DHCP リース期間	2 ~ 43200	720	○	○	○
DNS モード	手動、自動	自動	○	○	○
優先 DNS サーバー	0.0.0.0	—	○	○	○
代替 DNS サーバー	~ 255.255.255.255	—	○	○	○
スタティック DHCP					
新規/編集/削除	64 個まで登録可能です。	—	—	○	○
ホスト名	半角英数および記号最大 32 文字 (",:;\&%+'<>?を除く)	—	○	○	○
LAN IP アドレス	192.168.0.1 ~ 192.168.255.254	—	○	○	○
MAC アドレス	00:00:00:00:00:00 ~ FF:FF:FF:FF:FF:FF	—	○	○	○
ステータス	ON、OFF	ON	○	○	○
NAT					
TCP NAT タイマー(秒)	30 ~ 86400	300	○	○	○
UDP NAT タイマー(秒)	30 ~ 86400	300	○	○	○

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ /リストア	表示	
				管理者 でのログイン	一般ユーザー でのログイン
セキュリティ					
DMZ 設定					
DMZ 設定	有効、無効	無効	○	○	○
DMZ IP アドレス	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254	192.168.0.2	○	○	○
ポートフォワーディング					
新規/編集/削除	64 個まで登録可能です。	—	—	○	○
名前	半角英数および記号最大 31 文字 (.,:;!&%'+<>?を除く)	—	○	○	○
WAN ポート番号	1 ～ 65535	—	○	○	○
LAN IP アドレス	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254	—	○	○	○
LAN ポート番号	1 ～ 65535	—	○	○	○
プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP	○	○	○
ステータス	ON、OFF	ON	○	○	○
IP/ポートフィルタ					
ステータス	Disable、Blacklist、 Whitelist	Disable	○	○	○
新規/編集/削除	Blacklist: 64 個まで登録 可能です。 Whitelist: 64 個まで登録 可能です。	—	—	○	○
LAN IP アドレス	IPv4: 0 ～ 255 の 4 組の半角 数字 IPv6: 8 組の 16 進数 4 桁 ※8 組の番号間は「:」で区 切る必要があります。	—	○	○	○
LAN ポート番号	1 ～ 65535	—	○	○	○
WAN IP アドレス	IPv4: 0 ～ 255 の 4 組の半角 数字 IPv6: 8 組の 16 進数 4 桁 ※8 組の番号間は「:」で区 切る必要があります。	—	○	○	○
WAN ポート番号	1 ～ 65535	—	○	○	○
プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP	○	○	○
ステータス	ON、OFF	ON	○	○	○
WAN Ping ブロック					
WAN Ping ブロック設定	有効、無効	無効	○	○	○
WAN IP アドレス範囲	0 ～ 255 の 4 組の半角 数字	—	○	○	○
UPnP					
ステータス	有効、無効	無効	○	○	○

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ /リストア	表示	
				管理者 でのログイン	一般ユーザー でのログイン
Wi-Fi 設定					
Wi-Fi 基本設定					
Wireless Communication	有効、無効	有効	○	○	×
Multi SSID	有効、無効	無効	○	○	×
Wi-Fi 出力	高、低	高	○	○	×
2.4GHz					
SSID	半角英数および記号最大 32文字(“:”、“¥”を除く)	UNX05G1XXXXXX	○	○	○
Wi-Fi 暗号化方式	WPA2-PSK(TKIP/AES)、 WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES) WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES) WPA3-SAE(AES)	WPA2- PSK/WPA3- SAE(AES)	○	○	○
Wi-Fi 暗号化キー	8~63文字の半角英数お よび記号(“:”、“¥”を除く)	端末の固有番号 が設定されていま す	○	○	○
SSID ブロードキャスト	表示、隠す	表示	○	○	○
PMF	有効、無効	有効	○	○	○
5GHz					
SSID	半角英数および記号最大 32文字(“:”、“¥”を除く)	UNX05G2XXXXXX	○	○	○
Wi-Fi 暗号化方式	WPA2-PSK(TKIP/AES)、 WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES) WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES) WPA3-SAE(AES)	WPA2- PSK/WPA3- SAE(AES)	○	○	○
Wi-Fi 暗号化キー	8~63文字の半角英数お よび記号(“:”、“¥”を除く)	端末の固有番号 が設定されていま す	○	○	○
SSID ブロードキャスト	表示、隠す	表示	○	○	○
PMF	有効、無効	有効	○	○	○
Wi-Fi 拡張設定					
Wi-Fi 設定メニュー					
ステータス	有効、無効	有効	○	○	×
2.4GHz					
802.11 Mode	802.11b 802.11b/g 802.11b/g/n 802.11b/g/n/ax	802.11b/g/n/ax	○	○	○
Wi-Fi Channel	自動、1 ~ 13	自動	○	○	○
周波数帯域	HT20/HT40、HT20	HT20/HT40	○	○	○
最大接続クライアント数	1 ~ 16	16	○	○	○

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ /リストア	表示	
				管理者 でのログイン	一般ユーザー でのログイン
5GHz					
802.11 Mode	802.11a 802.11a/n 802.11a/n/ac 802.11a/n/ac/ax	802.11a/n/ac/ax	○	○	○
Wi-Fi Channel	屋内、屋外、屋外(144ch 有)	屋内	○	○	○
周波数帯域	HT80、HT20、HT40	HT80	○	○	○
最大接続クライアント数	1 ~ 16	16	○	○	○
Wi-Fi MAC フィルタリング					
ステータス	Disable、Blacklist、 Whitelist	Disable	○	○	○
新規/編集/削除	Blacklist: 8 個まで登録可 能です。 Whitelist: 8 個まで登録可 能です。	—	—	○	○
MAC アドレス	00:00:00:00:00:00 ~ FF:FF:FF:FF:FF:FF	—	○	○	○
プライバシーセパレータ					
SSID アイソレーション	有効、無効	無効	○	○	○
プライバシーセパレータ	有効、無効	有効	○	○	○
セキュリティ					
システム管理					
管理者パスワード					
現在のパスワード	4~32 文字の半角英数字 および 記号(",: \&%'+<>? を除く)	admin	○	○	×
新しいパスワード		—	○	○	×
パスワード確認		—	—	○	×
ユーザー管理					
ユーザー名	4~32 文字の半角英数字 および 記号(",: \&%'+<>? を除く)	user	○	○	×
現在のパスワード		user	○	○	×
新しいパスワード		—	○	○	×
パスワード確認		—	—	○	×
ME-PIN					
ME-PIN 設定	有効、無効、アンロック	無効	○	○	×
ME-PIN コード	6 文字の半角英数字	—	○	○	×
残り試行回数	—	—	—	○	×

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ /リストア	表示	
				管理者 でのログイン	一般ユーザー でのログイン
システム					
SNTP					
現在時刻	—	—	—	○	○
ステータス	—	—	—	○	○
タイムゾーン	各国のタイムゾーン	Asia/Tokyo	○	○	○
時刻フォーマット	12 時間表記、24 時間表記	24 時間表記	○	○	○
ネットワーク時刻との自動同期を有効にする	チェックマークあり、チェックマークなし	チェックマークあり	○	○	○
時刻同期サーバー1	各 NTP サーバー	ntp.nict.jp	○	○	○
時刻同期サーバー2		0.jp.pool.ntp.org	○	○	○
時刻同期サーバー3		1.jp.pool.ntp.org	○	○	○
時刻同期サーバー4		2.jp.pool.ntp.org	○	○	○
時刻同期サーバー5		3.jp.pool.ntp.org	○	○	○
夏時間を有効にする	チェックマークあり/チェックマークなし	チェックマークなし	○	○	○
USB モード					
USB バスパワー設定	自動 4.5W 7.5W	自動	○	○	○
USB 設定 (Router/USB モデム)	Router、USB モデム	Router	○	○	○
ソフトウェアとリセット					
自動再起動					
自動再起動	有効、無効	無効	○	○	○
再起動時刻	00:00 ~ 23:00	—	○	○	○
モード	日、週(月~日)	—	○	○	○
バックアップ/リストア					
ファイル名	バックアップ/リストアのファイルを指定します。	—	—	○	○
FW アップデート					
FW 自動アップデート	有効、無効	有効	○	○	○
アップデート方式	オンラインアップデート、手動アップデート	無効	○	○	○
現在のソフトウェアバージョン	—	—	—	○	○
ファイル名	手動アップデートのときのファームウェアのファイルを選択します。	—	—	○	○
再起動/リセット					
再起動	再起動を行います。	—	—	○	○
リセット	設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。	—	—	○	×

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ ／リストア	表示	
				管理者 でのログイン	一般ユーザー でのログイン
動作温度					
動作温度閾値	Class B (60°C) Class A (75°C)	Class A (75°C)	○	○	○
デバイス情報					
デバイス名	—	—	—	○	○
ソフトウェアバージョン	—	—	—	○	○
ハードウェアバージョン	—	—	—	○	○
IMEI	—	—	—	○	○
MAC アドレス	—	—	—	○	○
シリアル番号	—	—	—	○	○
電話番号	—	—	—	○	○
デバイス状態					
CPU 使用率	—	—	—	○	○
メモリ使用量	—	—	—	○	○
システム稼働時間	—	—	—	○	○
イーサネットインターフェース					
ステータス	有効、無効	無効	○	○	○
システムログ	—	—	—	○	○

メニュー一覧 (UNX-05G PC Utility)

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ /リストア
言語設定	日本語、English	—	—
ホーム			
動作モード	—	—	—
Information	—	—	—
接続状態	—	—	—
エラーコード	—	—	—
電話番号/IMEI	—	—	—
セキュリティ			
ME-PIN 設定	有効、無効、変更	無効	○
ME-PIN コード	6 文字の半角英数字	—	○
ME-PIN 自動入力	有効、無効	無効	○
SIM-PIN 設定	有効、無効、変更	無効	○
PIN コード	4~8 桁の半角数字	—	○
PIN 自動入力	有効、無効	無効	○
システム			
FW バージョン	—	—	—
Utility バージョン	—	—	—
ネットワーク設定	5G 5G SA Only 4G Only 自動(5G SA>5G)	5G	○
USB バスパワー設定	Auto 4.5W 7.5W	Auto	○
動作モード温度閾値	Class B (60°C) Class A (75°C)	Class A (75°C)	○
動作モード	Router、USB モデム	Router	○
自動インストール	有効、無効	無効	○
バックアップ	有効、無効	無効	○
リストア	—	—	—
再起動	—	—	—
FW 更新(Local)	—	—	—
FW 更新(FOTA)	—	—	—

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ ／リストア
プロフィール設定			
プロフィール名	半角英数および記号最大 32 文字 (,;:&%+'<>?を除く)	—	○
APN	半角英数最大 62 文字、 .(ドット)、-(ハイフン)	—	○
IP タイプ	IPv4、IPv6、IPv4/v6	IPv4/v6	○
認証方式	None、PAP、CHAP	None	○
ユーザー名	半角英数および記号最大 64 文字 (,;:&%+'<>?を除く)	—	○
パスワード	半角英数および記号最大 32 文字 (,;:&%+'<>?を除く)	—	○

仕様

製品名		UNX-05G
外形寸法		130mm x 80mm x 17mm
重量		約 164g
電源		USB Type-C (USB Power Delivery 対応) 5V/9V/12V
消費電力 ※1		ルーターモード : 最大 11.5W USB モデムモード : 5.5W
通信速度 ※2	WAN インターフェース	LTE <ul style="list-style-type: none"> ● 受信時最大 1.6Gbps ● 送信時最大 211Mbps <hr/> 5G NSA <ul style="list-style-type: none"> ● 受信時最大 3.5Gbps ● 送信時最大 460Mbps <hr/> 5G SA <ul style="list-style-type: none"> ● 受信時最大 2.5Gbps ● 送信時最大 900Mbps
	無線 LAN インターフェース	IEEE802.11a: 最大54Mbps IEEE802.11b: 最大11Mbps IEEE802.11g: 最大54Mbps IEEE802.11n (Wi-Fi 4): 最大300Mbps (2.4GHz帯、5GHz帯) IEEE802.11ac (Wi-Fi 5): 最大867Mbps IEEE802.11ax (Wi-Fi 6): 最大573Mbps (2.4GHz帯)、 最大1201Mbps (5GHz帯)
USB		USB 10Gbps (USB 3.2 Gen 2)
有線 LAN 方式		IEEE802.3ab (1000BASE-T)、IEEE802.3u (100BASE-TX)
最大同時接続台数		34 台 (Wi-Fi 2.4GHz: 16 台、Wi-Fi 5GHz: 16 台、USB: 1 台、 有線 LAN: 1 台)
環境条件 (動作時) ※3	温度	ルーターモード <ul style="list-style-type: none"> ● Class A : -10°C ~ 45°C (Wi-Fi とイーサネットを両方、または どちらかを使用する場合) -10°C ~ 50°C (Wi-Fi とイーサネットを使用しない場合) ● Class B : -10°C ~ 35°C

		USB モデムモード ● Class A : -10°C~50°C ● Class B : -10°C~35°C
	湿度	10~90%RH

※1 この数値は、電源投入時や通信中の瞬間的なピーク電力を除いた値です。

電源電圧:5V、周囲温度:25°Cでの条件での規定となります。

この条件以外でのご使用では、数値が変動する場合があります。

※2 表記の通信速度はシステム上の最大速度となります。通信速度は通信事業者のネットワークの仕様、通信環境、ネットワークの混雑状況などに応じて変化します。

※3 結露しないこと

本端末の比吸収率 (SAR) などについて

本端末の比吸収率 (SAR) について

この機種[UNX-05G]は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末のSARの最大値は1.99W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から0.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

(※1)技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則14条の2)で規定されています。

(※2)5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

FCC Regulations

This device complies with part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution:

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Radio Wave Exposure Information

This Product meets the government's requirements for exposure to radio waves.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons regardless of age or health.

FCC RF Exposure Information and Statement the SAR limit of USA (FCC) is 1.6 W/kg averaged over one gram of this Device MiFi (FCC ID : SLKUNX-05G) has been tested against this SAR limit. The SAR value of the device is 1.12 W/kg, meet the standards. SAR information on this can be viewed on-line at <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/>.

Please use the device FCC ID number for search. This device was tested for typical operations 10mm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, 10mm separation distance should maintain to the user's bodies.

European RF Exposure Information

This device meets guidelines for exposure to radio waves. Your device is a 5G Portable Modem. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves. These guidelines were developed by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), an independent scientific organization, and include safety measures designed to ensure the safety of all users, regardless of age and health. The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level during operation can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network. The SAR limit adopted by Europe is 2.0W/kg averaged over 10grams of tissue, the SAR value of the device is 1.54W/kg at the separation distance of 5mm from the body, meet the standards. For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal and positioning the device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory conformance

● Statement

Hereby, NCXX Inc. declares that this device UNX-05G is in compliance with the following.

Directive: RED 2014/53/EU, RoHS 2011/65/EU,

The full text of the EU declaration of conformity information and most recent information about accessories & software are available at the following internet address: <https://www.ncxx.co.jp/>

● Frequency Bands and Power

Frequency bands in which the radio equipment operates: Some bands may not be available in all countries or all areas.

Please contact the local carrier for more details.

LTE Band : 1/2/3/4/5/7/8/18/19/20/26/28/41/42: 25.7 dBm,

5G NR : n1/n3/n28/n41/n77/n78/n79: 25.7 dBm,

Wi-Fi 2.4G : 20 dBm

Wi-Fi 5G

5150-5350 MHz : 23 dBm,

5470-5725 MHz : 23 dBm.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して受け取った画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して受け取った他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

■ 商標について

- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、macOS、iPhone、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標または登録商標です。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Ethernet およびイーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- USB Type-C™は USB Implementers Forum の商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi CERTIFIED®、Wi-Fi Protected Access®(WPA)、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- LTE は欧州電気通信標準協会(ETSI)の登録商標です。
- Google、Android、Google Chrome は、Google LLC の商標です。
- Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、® マークを省略している場合があります。

その他

- 本書では各 OS(日本語版)を次のように略して表記しています。

Windows 11 は、Microsoft® Windows® 11(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。

Windows 10 は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。

携帯電話 / PHS のリサイクルについて

携帯電話/PHS 事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となった携帯電話・PHS の本体、バッテリー、充電器をブランド/メーカーを問わず、モバイル・リサイクル・ネットワークのマーク(下記マーク)のある店舗で、無償で回収し、リサイクルを行っています。



モバイル・リサイクル・ネットワーク

携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

やむを得ず廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。
梱包材、同梱物についても分別にご協力ください。

製造元：株式会社 ネクス

〒025-0323 岩手県花巻市柵ノ目 2-32-1

URL <https://www.ncxx.co.jp/>

サポートデスク

TEL 050-3101-3755 (一般電話・公衆電話・携帯電話・PHS 共通)